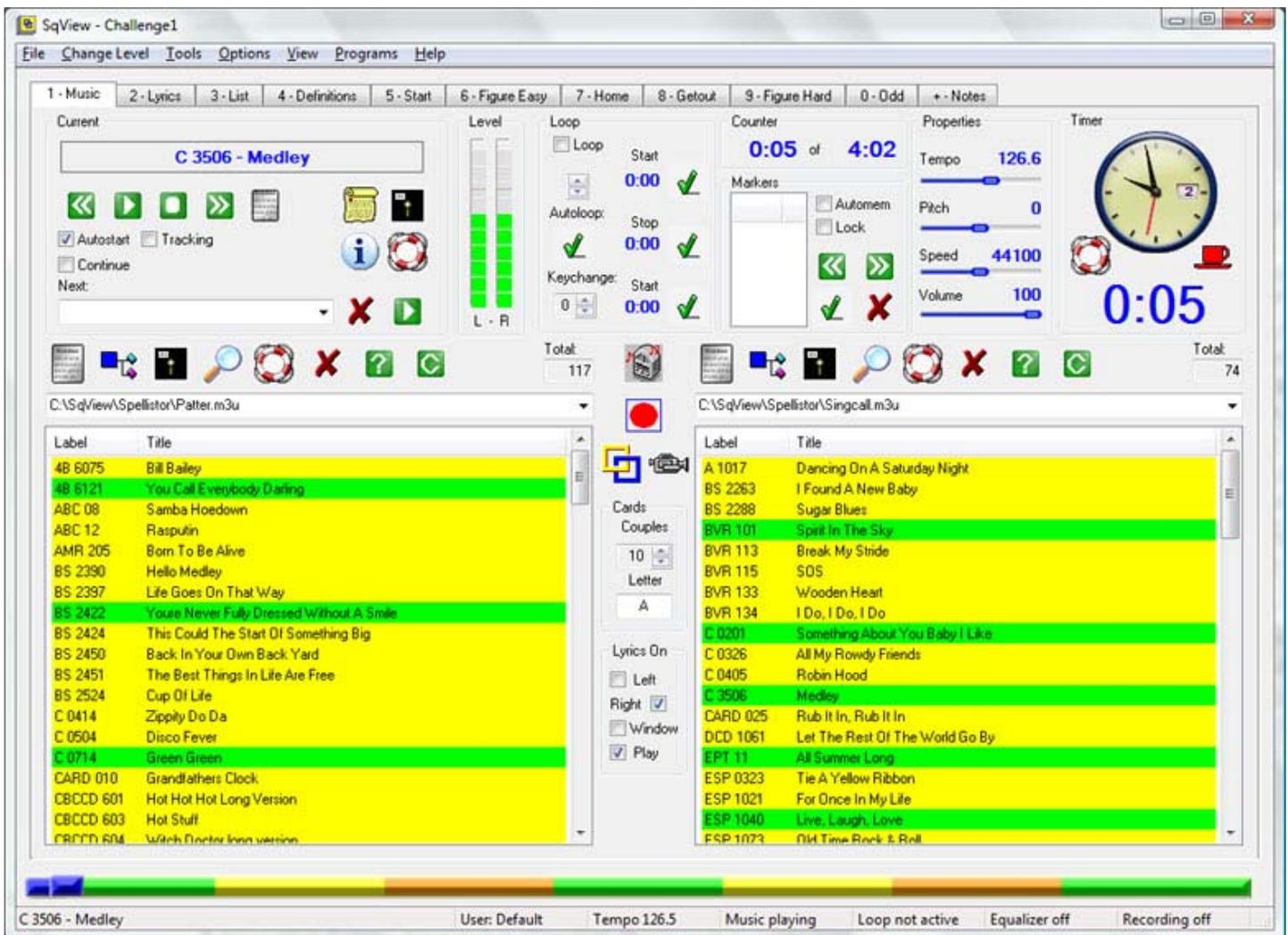


SqView

by Thomas Bernhed

Version 7.21- 2009

日本語版 Help マニュアル



この日本語版 Help マニュアルは、原作者の了解のもと、SqView への理解を深めていただくことを目的に翻訳いたしました。本書の著作権は原作者にあります。また、日本語訳に関する著作権は翻訳者にあります。無断転載はお断りいたします。マニュアルは、英語版のものをオリジナルとします。翻訳上の誤り、解釈の相違などについての責は負いかねますので、ご了承ください。本書について、お気づきのことがありましたら、ご連絡いただければ幸いです。改定の際、参考にさせていただきます。また、ソフトウェアの内容に関するお問い合わせには、お答えいたしかねますので、合わせてご理解ください。

2009年5月 訳者:鈴木俊一(メイブル SDC)

目 次

Cards(カード)	- 1 -
Counter(カウンター)	- 2 -
Current(現在の曲)	- 2 -
Equalizer(イコライザー)	- 4 -
Level(レベル)	- 5 -
Listboxes(リストボックス)	- 5 -
Loop(ループ)	- 7 -
Lyrics On(歌詞の表示)	- 8 -
Markers(マーカー)	- 8 -
Progress Bar(プログレスバー)	- 9 -
Properties(プロパティ)	- 9 -
Recording(録音)	- 10 -
Square ID	- 11 -
Statusbar(ステータスバー)	- 12 -
Timer(タイマー)	- 12 -
Web Camera(カメラ)	- 14 -
Lyrics(歌詞)	- 15 -
List	- 17 -
Definitions(定義)	- 18 -
Choreography	- 19 -
File	- 21 -
File - Users	- 21 -
File - Guest Caller	- 21 -
File - Import Backup	- 22 -
File - Export Backup	- 22 -
File - Exit	- 23 -
Change Level	- 23 -
Tools	- 24 -
Tools - Playlist Manager(プレイリストマネージャー)	- 24 -
Tools - Song Manager	- 26 -
Tools - Choreography Manager	- 28 -
Tools - Memory Manager	- 30 -
Tools - Track Manager	- 31 -
Tools - Cuesheet Manager	- 33 -
Others - Square Dance Records	- 36 -
Tools - Reset Controls	- 37 -
Options	- 38 -
Options - General	- 38 -
Path	- 39 -
Notes	- 39 -
Hotkeys	- 39 -
Scrolling	- 40 -

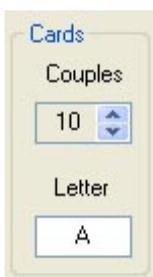
Miscellaneous.....	- 40 -
Web Camera.....	- 40 -
Square ID	- 41 -
Options that needs restart(変更を有効にするために再起動が必要なもの).....	- 41 -
List Colors.....	- 41 -
Default Progress Bar.....	- 42 -
Guest Caller.....	- 42 -
PlayList Manager.....	- 42 -
CDDB.....	- 43 -
Options - Music	- 44 -
Set Values(値を設定するもの).....	- 44 -
Show Controls(表示のコントロール).....	- 45 -
Pause Timer.....	- 46 -
Timer	- 46 -
Clock.....	- 47 -
Midi Soundfont	- 47 -
Loop.....	- 48 -
Songmarks.....	- 48 -
Naming.....	- 48 -
Markers.....	- 49 -
Miscellaneous.....	- 49 -
Listbox General	- 49 -
Listbox Columns(リストボックスの列の設定)	- 50 -
Options - Lyrics.....	- 52 -
Path(パス)	- 52 -
Show Lyrics(歌詞の表示方法)	- 53 -
Miscellaneous(その他)	- 53 -
Marry(関連付け)	- 54 -
Options - Choreography.....	- 56 -
Program.....	- 56 -
Used Choreography	- 57 -
Name.....	- 57 -
Index	- 58 -
Path.....	- 58 -
Options - Stylesheet	- 59 -
Stylesheet.....	- 59 -
Title	- 60 -
Label	- 60 -
Caller	- 60 -
Header	- 61 -
Lyrics.....	- 61 -
Text	- 61 -
Write Stylesheet.....	- 62 -
Options - Sound Effects	- 63 -

Path.....	- 63 -
Select a sound effect.....	- 63 -
Options - System.....	- 64 -
Screen Resolution	- 64 -
DPI	- 64 -
BASS.....	- 65 -
View.....	- 66 -
View - Music Control.....	- 66 -
View - Music Listbox	- 68 -
View - Choreography.....	- 70 -
Programs	- 72 -
Programs - Checkers.....	- 72 -
Programs - Couples Rotation	- 72 -
Help.....	- 72 -
Help - Update	- 73 -
Help - Contents	- 74 -
Help - Definitions	- 74 -
Help - About.....	- 75 -
Release Notes.....	- 76 -
Bass Error.....	- 86 -
FAQ.....	- 88 -

Music



Cards(カード)



組み合わせカードを使うときに使用します。カップルの数をセットします。“Y”キーを使って、曲をフェードアウトさせて終了するたびに、アルファベットが一つずつ変わってゆきます。この表示/非表示は、Options Music Show Cards で切り替えられます。

Counter(カウンター)



曲の進行状態が表示されます。右は曲の長さ(分:秒)、左は現在の再生位置(分:秒)です

Current(現在の曲)

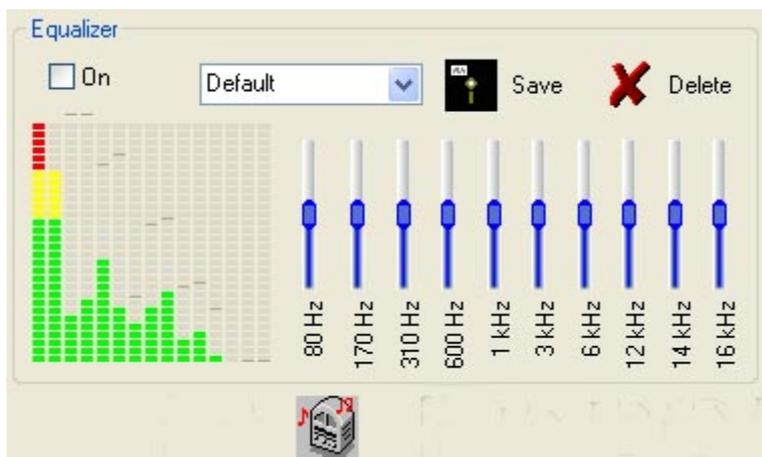


四角の枠の中に、現在選択されている曲名が表示されます。曲を選択するには、曲のリストから、ダブルクリックします。曲リストの下にあるプログレスバーには、現在の再生位置が表示されます。再生位置をドラッグすると、再生位置を飛ばして変えることができます。

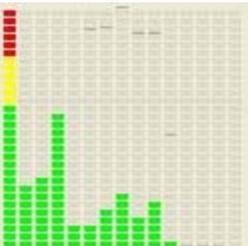
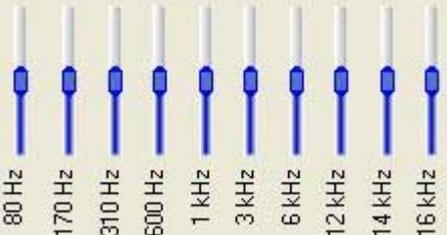
	クリックすると、曲の再生位置が 10 秒戻ります。この秒数は、Options->Music->FF/FR Step で、変更することができます。ショートカットキーは“O”です。
	曲を再生します。停止している状態で、スペースキーを押すのと同じです。ショートカットキーは、“スペース”です。
	曲を停止します。再生している状態で、スペースキーを押すのと同じです。ショートカットキーは、“スペース”です。
	クリックすると、曲の再生位置が 10 秒進みます。この秒数は、Options->Music->FF/FR Step で、変更することができます。ショートカットキーは“P”です。
	再生するファイルを選択するダイアログが表示されます。
	選択されている曲に、歌詞や、注釈などが登録されている場合、このボタンが表示されます。登録する場所は、Options->General->Notes で指定できます。その指定の場所に登録されていない場合には、このボタンは表示されません。

	<p>Option->General->Lyrics で、指定された方法で歌詞を表示します。詳細は、Option の項目を参照してください。歌詞が登録されていない場合には、このボタンは表示されません。ショートカットキーは“T”です。</p>
	<p>ループ再生のスタート、終了位置、キー設定、ピッチ、テンポ、スピード、イコライザー、マーク、レイティング、ボリュームの設定をループデータベースに保存します。</p>
	<p>すべての設定を、ファイルの初期値に戻します。</p>
	<p>MP3 ファイルのヘッダー情報を表示します。ダイアログ内で情報を編集し、保存することができます。</p>
<input type="checkbox"/> Autostart	<p>チェックしておくと、ファイル名をダブルクリックして選択した時点で、再生が開始されます。</p>
<input type="checkbox"/> Tracking	<p>使用した曲の記録を残すことができます。これをチェックすると、そのダンス会の名前を入力するダイアログが表示されます。以後、曲を再生するたびに、その曲名、日時、ダンス会の名前が記録されます。 記録された内容は、Tools->Track Manager で、見ることができます。</p>
<input type="checkbox"/> Slower	<p>チェックすると、曲の再生速度が 1%遅くなります。この値は、Options->Music->Slower で変更することができます。 Options->Music->Show Slower で、この表示/非表示が切り替えできます。</p>
<input checked="" type="checkbox"/> Continue	<p>チェックしておくと、曲が一つ終わった時に、曲名リストの次の曲が自動的に再生されます。</p>
<input type="checkbox"/> Random	<p>チェックすると、曲が一つ終わった時に、曲名リストの中から、ランダムに次の曲を自動的に再生開始します。Continue がチェックされていないと、これは表示されません。</p>
<input type="checkbox"/> Short	<p>曲を 90 秒だけ再生して、次の曲に移ります。Continue がチェックされていないと、これは表示されません。</p>
<input checked="" type="checkbox"/>	<p>チェックしておくと、Continue モードで、リストボックスの次の曲ではなく、“Next”リストから再生します。</p>
<p>Next: <input type="text" value="C 0330 - Little Miss Honky Tonk"/>  </p>	<p>キューシートが付けられている曲が表示されます。曲名の右にある再生ボタンをクリックすると再生が開始されます。ショートカットキーは“K”です。赤のバツをクリックすると、リストを削除します。</p>

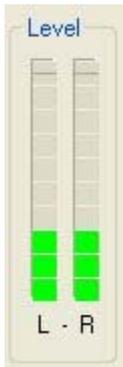
Equalizer(イコライザー)



グラフィックイコライザー機能で、音楽のチューニングができます。設定は保存しておくことができます。

 EQ	このアイコンをクリックすると、イコライザーコントロールが表示されます。
<input checked="" type="checkbox"/> On	チェックすると、イコライザーの設定が曲に反映されます。
	グラフィック表示
  Save  Delete	リストから、プリセットを選択できます。Save ボタンをクリックすると、設定に名前を入力するダイアログが表示され、自分で設定した状態を保存することができます。保存された設定を削除するには、Delete をクリックし、確認画面で Yes を選択します。
	10 チャンネルイコライザー。マウスで各周波数の部分を調整できます。

Level(レベル)



左右のチャンネルの再生レベルを表示します。

Listboxes(リストボックス)



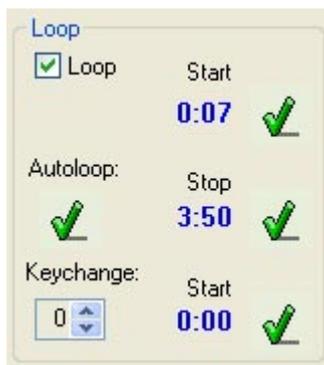
画面には二つのリストボックスがあります。それぞれに、プレイリスト、あるいはPCのフォルダーを表示させることができます。使用された曲は、その表示色が変わります。リストボックスの設定には、いろいろな方法があります。詳細は、Options->Musicを参照してください。ソフトウェアの起動時には、前回使われていたプレイリスト、あるいはフォルダーが表示されます。Back Spaceキーで、曲をリストから消すことが

できます。リストから曲を一度消しても、曲のファイル自体が削除されるわけではありません。リロードを実行すれば、再び表示されます。

	<p>プレイリストを選択します。リストに登録されているすべての曲がリストボックス内に表示されます。</p>
	<p>曲が保存されているフォルダーを指定します。フォルダー内のすべての曲がリストボックスに表示されます。</p>
	<p>曲をプレイリストに登録します。保存するプレイリスト、その場所を指定するためのダイアログが表示されます。</p>
	<p>リストボックス内で、文字列を検索します。クリックすると、検索の文字列を入力するダイアログが表示されます。検索が終了すると、その文字列を含むすべての曲がリストボックス内に表示されます。次のリロードをクリックすると、リスト全体表示に戻ります。</p>
	<p>選択されているプレイリスト、あるいはフォルダー内の曲をリロードします。リストボックスの上には、選択されているパスが表示されています。</p>
	<p>曲の再生記録のマーカ―をすべて削除します。</p>
	<p>リスト内の曲からランダムに選曲します。</p>
	<p>クリックするとダイアログボックスが表示され、リストされている曲の中から、チェックする項目を指定します。チェックできる項目は、歌詞が登録されているか、ループデータベースに登録されているか、トラック記録が付けられているか、マークされている、あるいは、されていないかです。実行すると、リストボックス内には一致したものが表示されます。リロードをクリックすると、元の表示に戻ります。</p>
<p>Time: 149:29</p>	<p>リストボックス内の曲のトータルの演奏時間が表示されます。表示させたくない場合には、Options->Music->Length and Type で非表示にすることができます。</p>
<p>Total: 38</p>	<p>リストボックス内の曲の数が表示されます。</p>
<p>C:\5q\new\MP3</p>	<p>選択されているプレイリスト、あるいはフォルダーのパスが表示されます。チェックあるいは検索を実行すると、その実行した内容が表示されます。プログラムを起動してから、選択されたパスの記録が残さ</p>

	れます。
	<p>リストボックス内には、必要に応じて 2、5、あるいは 7 列の情報が表示されます。リストボックスの表示順を別途指定することができます。それらの指定はすべて、Options->Music で、行ないます。</p>

Loop(ループ)

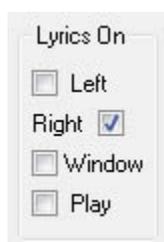


ここで、曲のループ及びキー変換の設定を行います。設定を行った後、保存ボタンをクリックして、その設定内容を保存することができます。(Current を参照してください。)

<input checked="" type="checkbox"/> Loop	<p>チェックを付けると、スタート位置とストップ位置の間で曲をループさせます。両方の値に 0 が指定されていると、ここにチェックをつけても、曲はループしません。</p>
<input type="text" value="1"/>	<p>ループ回数を指定します。指定の回数ループ再生したあと、曲の最後まで再生されます。0 を指定すると、エンドレスにループします。この設定項目は、Options->Music->Show Nr of Loops で表示/非表示を切り替えられます。</p>
Rate: <input type="text" value="0"/>	<p>その音楽ファイルにユーザーがつけた、レートが表示されます。Options->Music->Show Rate で、表示/非表示を切り替えられます。</p>
Autoloop: <input checked="" type="checkbox"/>	<p>このボタンをクリックすると、デフォルトのループスタート、ストップ位置を使ってループ設定が行われます。このデフォルト位置は、Options->Music->Autoloop で指定することができます。スタート位置、ストップ位置の設定が上手くいかないときに、とりあえずこのデフォルト位置を指定すると、便利で</p>

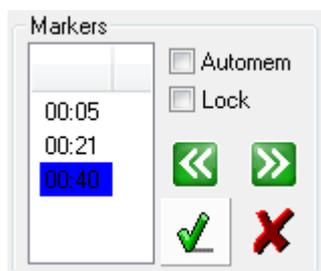
	す。
	クリックすると、その曲の現在の再生位置をループスタート位置に設定します。実際には、クリックしたボタンを離れたときに登録されます。
	クリックすると、その曲の現在の再生位置をループストップ位置に設定します。
	曲の指定ポイントでキーチェンジをすることができます。チェンジする半音階の数を指定し、曲の再生位置がキーチェンジしたい場所に来たときに、チェックボタンをクリックすると、設定が保存されます。

Lyrics On(歌詞の表示)



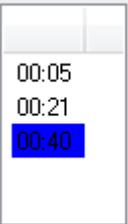
SqView 使用時に、左右のリストボックス、あるいはウインドウリストボックスのそれぞれにおいて、歌詞の検索を行うかどうかを指定することができます。再生時に歌詞を表示させるかどうかの指定も、ここでを行います。

Markers(マーカー)



スクエアアップタイムなど、曲の途中の指定場所にマーカーを付けることができます。セットした後に、Automem が有効になっていない場合は、Music ウィンドウ左上のフロッピーボタンをクリックすると、その設定を保存することができます。

	このボタンをクリックすると、カウンターは選択されたマーカータイムにリセットされ、その位置から再生が開始されます。カウンタータイマーがマーカータイムを超えていた場合、次のマーカーは自動的に選択されます。図のように、選択されているマーカータイムは、青色のハイラ
---	--

	イト表示となります。
	このボタンをクリックすると、次のマーカーに移動し、カウンターはその新しいマーカータイムとなり、曲の再生もその位置からとなります。
	選択されている曲の、現在の再生位置にマーカーが付けられ、リストボックスに追加されま す。Automem が有効となっている場合、自動的に保存されます。
	マークを削除します。複数のマーカーを選択して削除することもできます。Locked ボックスに チェックが入り、有効となっている場合には、削除することができませんので、ご注意ください。 完全に削除を行うには、Music ウィンドウ左上のフロッピーボタンをクリックして変更を保存す る必要があります。
	選択されている曲のマーク位置がすべて表示されます。

Progress Bar(プログレスバー)



プログレスバーを見ると、曲の進行状況が一目でわかります。、Options->General で、デフォルトの 2 種類
の選択が可能です。Song Manger で、さらに 7 種類が選択可能です。

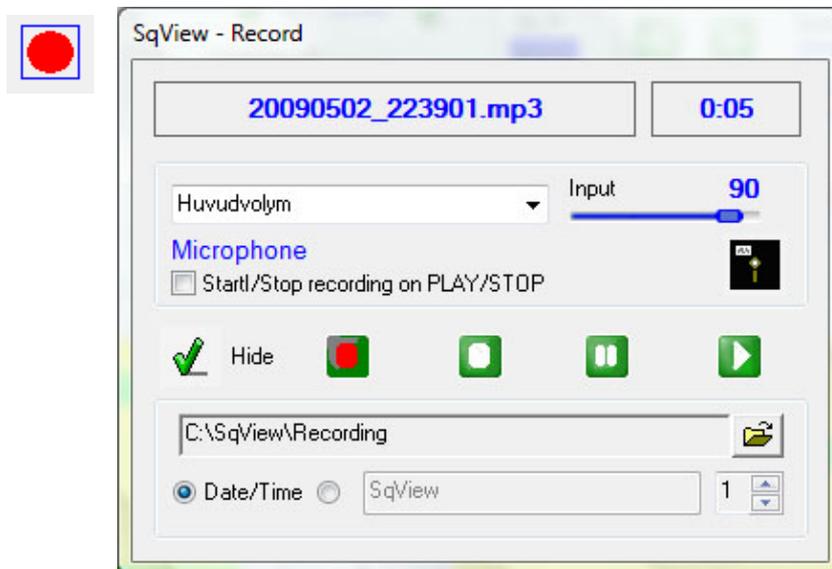
Properties(プロパティ)



選択されている曲のテンポ、ピッチ(音階)、スピード、ボリュームを表示します。同時に、マウス、あるいは
ショートカットキーでそれらの設定値を変更することができます。変更した内容は、現在の曲のコントロ
ール部分の保存ボタンで、保存することができます。

Tempo 128.0 	曲を選択すると、SqView はその BPM (1 分あたりのビート数)を自動計算し、ここに表示します。ショートカットキー“E”でテンポを遅く、“R”で速くすることができます。
Pitch 0 	曲のピッチ(音階)を、半音階単位で変更することができます。0 は原曲のままです。ショートカットキー“D”でキーを下げ、“F”で上げることができます。
Speed 44100 	スピードは、レコードの回転数を変えるのと同じ効果があります。ノーマル状態では The speed is the same as the recorded sample rate. Normal value is 44100Hz になっています。スピードを変えると、曲のテンポとピッチが同時に変化します。ショートカットキー“C”で遅く、“V”で速くなります。
Volume 100 	ボリューム(音量)を 0-100%の範囲で変更できます。

Recording(録音)

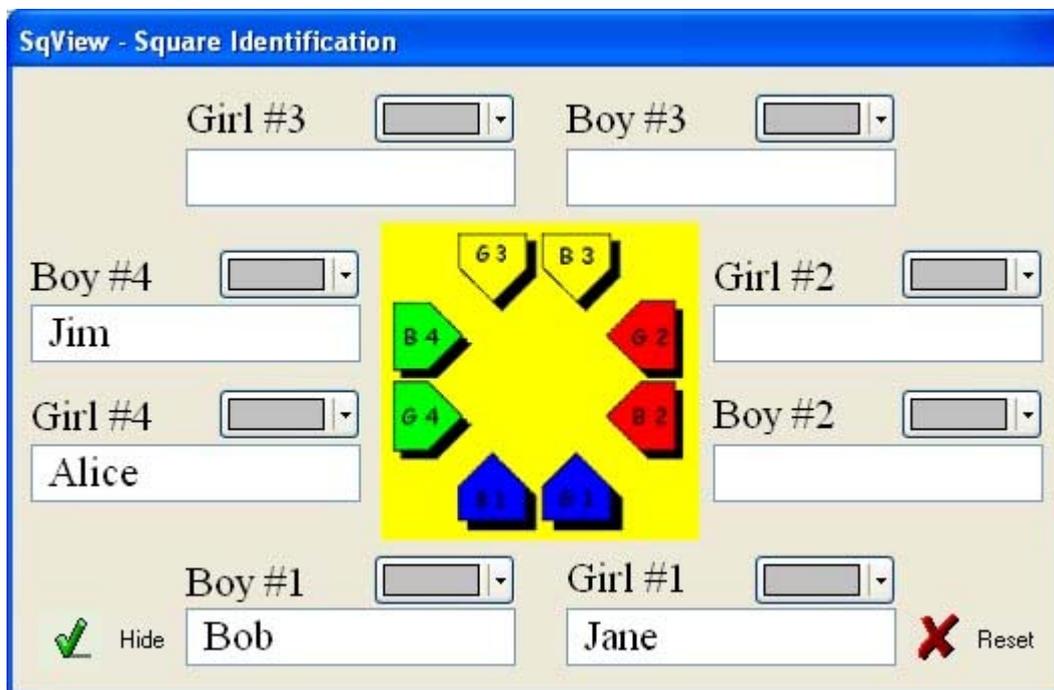


この機能を使って、コールを自動的に録音することができます。録音するには、ヒルトンアンプと PC とを録音用にケーブルで接続する必要があります。SqView で曲を再生しているときに、自動的に録音されます。

20090502_223901.mp3	作成された録音ファイル
0:05	録音経過時間
Huvudvolym Microphone	録音の入力チャンネル
<input type="checkbox"/> Start/Stop recording on PLAY/STOP	チェックすると、曲の再生を開始した時点で録音が始まり、曲を停止、もしくはフェードアウトさせたときに、録音は終了します。

	入力ボリューム
	録音設定の保存
<input checked="" type="checkbox"/> Hide	ウィンドウを隠します。録音はそのまま続行します。
	録音を開始します。
	録音を停止します。
	録音を一時停止します。
	録音したものをテスト再生します。
<input type="text" value="C:\SqView\Recording"/>	録音ファイルの保存先フォルダーです。
<input checked="" type="radio"/> Date/Time <input type="radio"/> SqView 1	ファイルの命名方法の選択です。日時 "20081214_094547.mp3 " あるいは、名前と通し番号 (danceXX1.mp3)が選択できます。通し番号は、自動的に一つずつ増えます。

Square ID



ID ボタンをクリックすると、このようなウィンドウが表示されます。キーセットのダンサーの、名前などを入力しておくことができます。服装の色を指定することもできます。このウィンドウが表示される場所を、Options->General->Square ID で指定することができます。

 Hide	ウィンドウを非表示にします。ショートカットキー "U"で、ウィンドウの表示/非表示を切り替えることができます。
 Reset	入力した名前、色をグレーにリセットします。

Statusbar(ステータスバー)

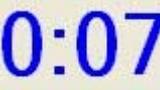


ステータスバーは、選択されているタブにかかわらず、ウィンドウの下の部分に、常に表示されます。表示されるのは、選択されている曲、ユーザー名、曲のテンポ、曲が再生されているか、あるいは停止しているか、ループが有効になっているか、イコライザーが有効になっているか、また、録音されているかどうかです。

Timer(タイマー)

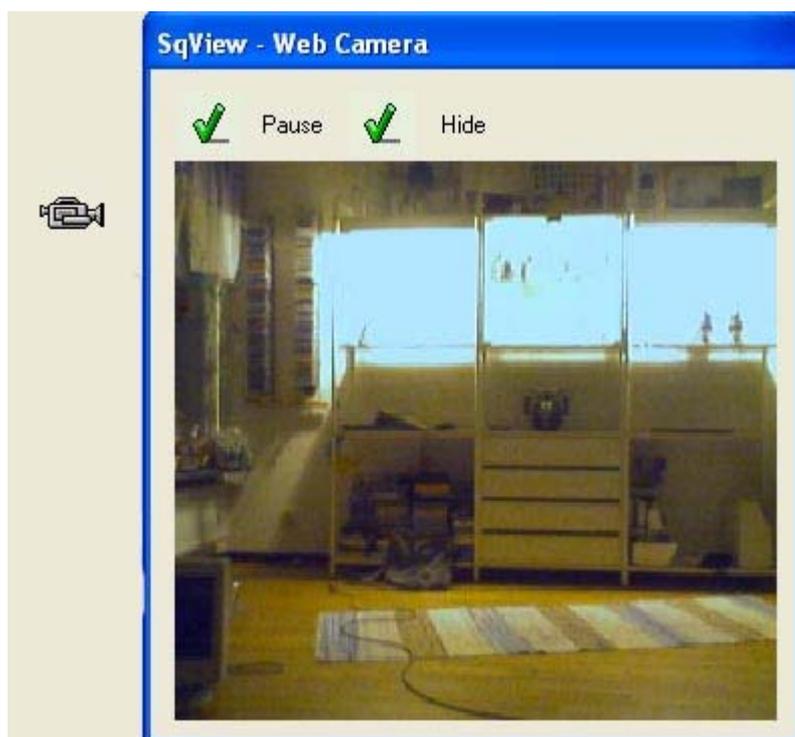


現在の時間と、曲が演奏されている時間が表示されます。

	時計
	曲が演奏されている時間が表示されます。表示方法は、0からのカウントアップ、あるいはスタート設定時間からのカウントダウンの二通りあります。カウントダウンの場合、時間が0以下になると、表示色が赤に変わり、点滅表示になります。ショートカットキー“J”で、カウントアップと、カウントダウンの切り替えができます。カウントダウンのスタート設定時間は Options->Music->Minutes で設定できます。Options->Music->Always on

	top で、カウンターのみ、独自ウインドウにして、常に手前に表示させることができます。カウンターは、曲を選択して演奏を開始した時点からスタートし、次の曲を選択した時点で止まります。
	カウンターを 0 にします。
	チップ間の休憩のときにタイマーをスタートさせます。カウンターが 0 になったときに、チャイムを鳴らす、あるいは、自動的に曲の演奏を開始することができます。休憩時間、チャイム、自動再生の設定は、Options->Music->Pause Timer で行います。

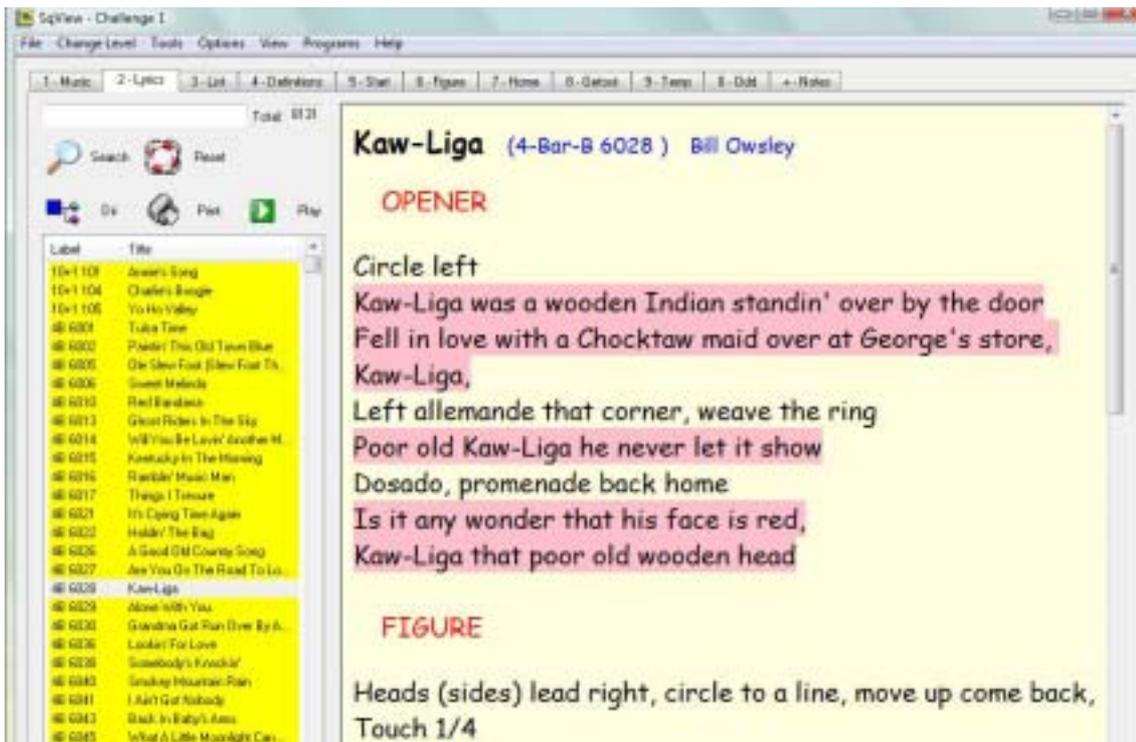
Web Camera(カメラ)



PCにWebカメラが接続していれば、このボタンをクリックしたときに別ウインドウが表示され、カメラの画像が表示されます。キーセットを撮影しておけば、カップルを忘れる心配がありません(^_^)。ウインドウの大きさは必要に応じて変更することができます。ウインドウが表示される位置は、Options->General->Web Cameraで、指定することができます。

 Pause	イメージをキャプチャーします。もう一度クリックすると、再びライブ画像に切り替わります。
 Hide	ウインドウを非表示にします。ショートカットキー“I”で、この表示/非表示を切り替えられます。

Lyrics(歌詞)



歌詞のファイルの形式として使用できるのは、HTM、HTML、PDF、MHT、TXT および RTF です。通常は、歌詞のファイル名は曲名と同じものを用います。

例えば、"RYL 0305 - Do Run Run.mp3" の詞子ファイルは "RYL 0305 - Do Run Run.html" というように合わせます。

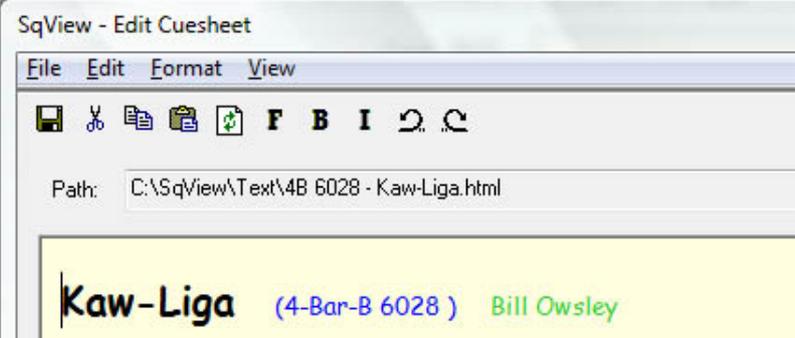
実際には、SqView では、曲に対する歌詞は、レーベル名と番号が一致するものを検索しています。

歌詞を表示させるには、以下の 3 通りがあります。:

1. Music のタブで、“T” を押す。
2. 別ウインドウに表示させる。
3. Lyrics のタブに表示させる。

歌詞の表示方法は、Options->General->Lyrics Show で指定することができます。

<input type="text"/>	検索キーワードを入力します。
Total: <input type="text" value="0"/>	検索結果でヒットしたキューシートが表示されます。
 Search	検索を開始します。検索キーワードが指定されていない場合、すべてのキューシートがリストボックス内に表示されます。リストボックス内にキューシートが表示されている場合には、それらの中から検索が行われます。このようにして、何段階かの検索を行って、目的のキューシートを絞り込むことができます。

 Reset	<p>リストボックス内に表示されているものを消去します。次の検索は、すべてのキューシートを対象に行われます。</p>
 Edit	<p>HTML エディターを使って、キューシートを編集することができます</p> 
 Font	<p>RTF 形式のキューシートの場合、フォントを変更することができます。Html 形式の場合、ここでは変更されません。</p>
 Dir	<p>キューシートを検索するフォルダーを指定します。</p>
 Print	<p>キューシートを印刷します。</p>
 Play	<p>リストボックス内の曲をクリックすると、SqView はそのレーベルとレコード番号が一致する曲が Music タブのリストボックスに含まれているかをチェックし、見つかった場合には、この再生ボタンが表示されます。</p>
	<p>リストボックス内には検索の結果が表示されます。曲名をダブルクリックすると、そのキューシートがリストボックスの右側に表示されます。リストは、タイトル、あるいはレコード番号順に並び変えることができます。タイトルバーをクリックすると、並び変えを実行できます。</p>

List

The screenshot shows a window titled "SqView - Challenge 1" with a menu bar (File, Change Level, Tools, Options, View, Programs, Help) and a tabbed interface. The "3-List" tab is active, displaying the CALLERLAB logo and the text "CALLERLAB International Association of Square Dance Callers" with contact information: "467 Forrest Avenue, Suite 118, Cocoa, FL 32922" and "Phone: 321-639-0039 / Fax: 321-639-0851". Below this is the heading "CALLERLAB C-1 Program List" and a date "Revised July 7, 2004". The list is organized into two columns:

Ah So	Relay the Top
Alter the Wave	Reverse Explode (from waves)
Beaus and Belles Naming Convention (from all appropriate formations)	Rotary Spin
Block Formation, such as: Partner Trade, Partner Tag, Pass Thru, Touch 1/4, Star Thru, Walk & Dodge, Square Thru, Wheel Thru	Rotate/Single Rotate Reverse Rotate/Reverse Single Rotate (all from squared set only at C-1)
Butterfly Formation/Concept, such as: Circulate, Split Circulate, Walk & Dodge	Scatter Scoot
Cast Back/Cross Cast Back	Scatter Scoot Chain Thru
Chain Reaction (from various formations)	Scoot and Little(Anything) and Little
Checkover	Scoot and Plenty(Anything) and Plenty
Circle By (with fractions)	Scoot and Ramble(Anything) and Ramble
Concentric Concept, such as: From starting DPT: Star Thru, Slide Thru, Pass In/Out, Touch 1/4	Shakedown
From completed DPT: Chase Right, Shakedown	Siamese Concept
From tidal wave: Recycle, Ah So	Split Square Thru variations: Split Square Chain the Top
From tidal line: Wheel & Deal, Turn & Deal, 1/2 Tag	Split Dixie Style to a Wave
Counter Rotate	Split Dixie Diamond
Cross and Turn	Square Chain the Top
	Square the Bases
	Squeeze
	Squeeze the Galaxy/Hourglass

このタブは、プログラムリストを表示させるために用います。表示させる MS、Plus などのプログラムレベルは、Options->Choreography->Path List で指定します。

SqView では、リストは HTML 形式で登録されています。コーララボのプログラムリストは、以下からダウンロードできます。 <http://www.callerlab.org/programs/lists.asp>

ここで使用できるファイル形式は、HTM, HTML, PDF, MHT, TXT 及び RTF です。

Definitions(定義)

SqView - Challenge 1

File Change Level Tools Options View Programs Help

1-Music 2-Lyrics 3-List 4-Definitions 5-Start 6-Figure 7-Horse 8-Getout 9-Temp 0-Odd + Notes

CALLERLAB
International Association of Square Dance Callers

467 Forrest Avenue, Suite 118, Cocoa, FL 32922
Phone: 321-639-0039 / Fax: 321-639-0851

Revised March 11, 2005

CALLERLAB Challenge 1 Definitions

© Copyright 1982, 1985-1988, 1995, 2001-2006 Bill Davis, John Sybalsky and CALLERLAB. The International Association of Square Dance Callers. Permission to reprint, republish, and create derivative works without royalty is hereby granted, provided this notice appears. Publication on the Internet of derivative works without royalty is hereby granted, provided notice appears. Permission to quote parts or all of this document without royalties is hereby granted, provided this notice is included. Information contained herein shall not be changed nor revised in any derivation or publication.

Read this First

This set of definitions is an attempt to capture the real meaning for each call on the C-1 list. It is intended to serve as the referee for disputes about exactly what a call means, and as a basis for teaching the calls properly.

Whenever the "technical" definition of a call is too long or complicated to do a "first teach" from, we have provided a teaching definition or teaching hints. This way, the definitions can meet both sets of needs. Naturally, dancers should be introduced to the full definition of each call as soon as your judgement dictates.

Before you use these definitions, you should be familiar with the CALLERLAB Basic/Mainstream definitions, the CALLERLAB Plus definitions, the CALLERLAB Advanced definitions, and the CALLERLAB standard formation names. Where possible, we have used calls and formations defined in those documents. This has let us make the definitions shorter and clearer.

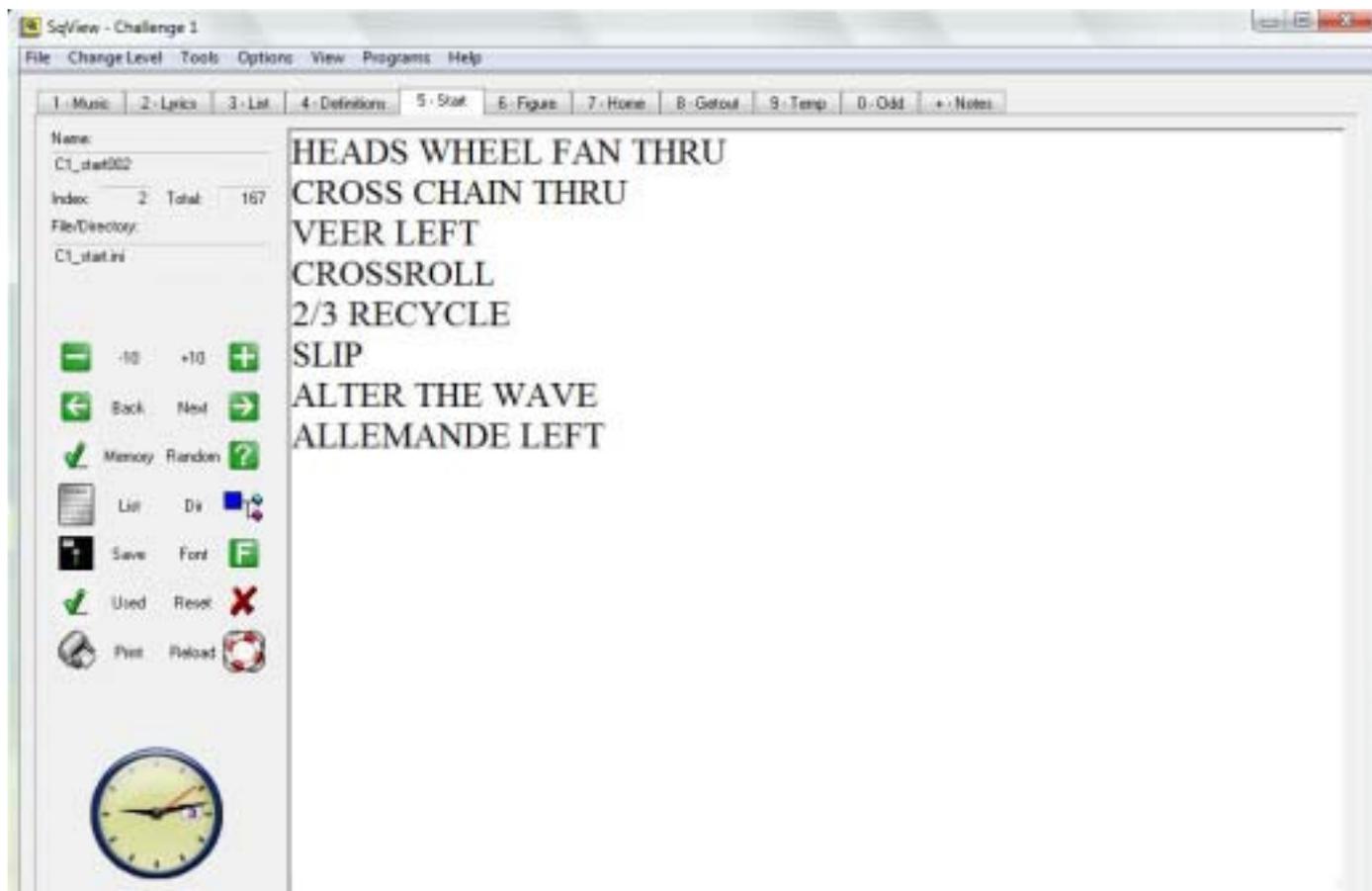
Regional Styling Differences

このタブは、定義を表示させるために使用します。表示させる定義のプログラムレベルは、Options->Choreography->Path Definitions で、指定することができます。

SqView には、定義が HTML 形式で登録されています。最新のコーラーラボの定義は、以下からダウンロードできます。 <http://www.callerlab.org/programs/lists.asp>

ここで使用できるファイル形式は、HTM, HTML, PDF, MHT, TXT および RTF です。

Choreography



残りの 7 個のタブは、コレオグラフィーを表示させるために使います。使用できるファイル形式は、HTM、HTML、PDF、MHT、TXT 及び RTF です。それぞれのタブで、フォルダーの中のファイル、あるいは、別々のファイルがどの場所に保存されているかを指定した、ini ファイルを表示させることができます。ini ファイルは、コレオグラフィーマネージャーで作成されます。

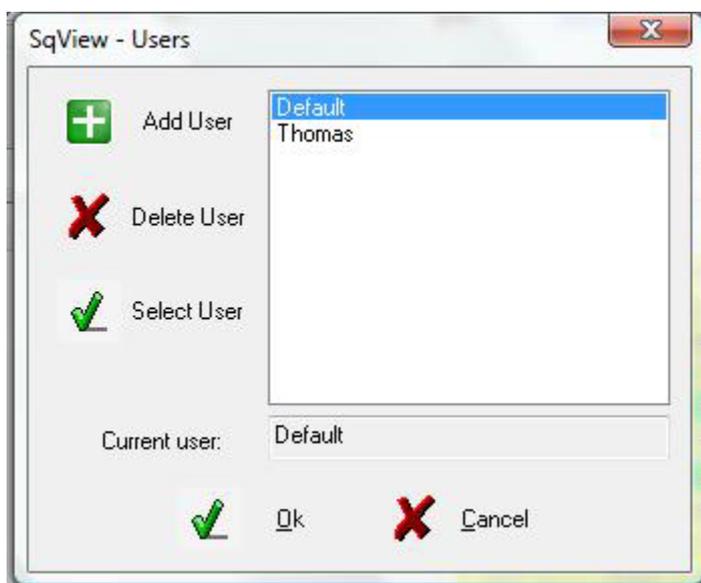
Name: A2_figure004	表示されているファイルの名前。
Index: 4	表示されているファイルのインデックス。
Total: 6	フォルダー、あるいは ini ファイルに登録されているファイルの数。
File/Directory: A2_figure.ini	選択されているフォルダー、あるいは ini ファイルの名前。
-10	インデックスを 10 下げて、新しいファイルを表示します。10 下げた結果、0 以下となる場合には、0 が指定されます。ショートカットキーは“Q”です。
+10	インデックスを 10 上げて、新しいファイルを表示します。10 上げた結果が、ファイルの総数を超える場合には、その総数が指定されます。ショートカットキーは“W”です。

 Back	<p>インデックスを1下げて、新しいファイルを表示します。1下げた結果、0以下となる場合には、0が指定されます。ショートカットキーは“A”です。</p>
Next 	<p>インデックスを1上げて、新しいファイルを表示します。1上げた結果が、ファイルの総数を超える場合には、その総数が指定されます。ショートカットキーは“S”です。</p>
 Memory	<p>後でわかるように、ファイルのパスを記録します。メモリーに保存されたファイルのパスは、Tools->Memory Manager で、見ることができます。ホットキーは“Z”です。</p>
Random 	<p>次に表示されるファイルをランダムに指定します。ホットキーは“X”です。</p>
 List	<p>新たに ini ファイルを選択します。</p>
Dir 	<p>新たにフォルダーを選択します。</p>
 Save	<p>テキストを同じファイルパスに保存します。ここでは、RTF ファイル、TXT ファイルのみが変更可能です。</p>
Font 	<p>RTF ファイル、TXT ファイルのフォントを変更します。</p>
 Used	<p>シーケンスを使ったというマークを付けます。使用済みのシーケンスの表示/非表示は Options->Choreography->Show used files で設定します。</p>
Reset 	<p>使用済みのシーケンスに付けられたマークを削除します。</p>
 Print	<p>キューシートを印刷します。</p>
Reload 	<p>使っていたリスト、あるいはフォルダーを再読み込みします。</p>
	<p>時計を表示します。</p>

File



File - Users



SqView には、複数のユーザーを登録して、ユーザーID 別に、個々に曲の設定が可能です。つまり、ユーザーごとに、同じ曲に対して異なる設定が保存できます。現在のユーザーは、ステータスバーに表示されます。

File - Guest Caller

この機能は、別のコーラーにコンピューターを貸したときに、保存されている設定を変更したり、プログラムを終了することができなくします。ゲストコーラーモードを終了した時点で、ゲストが変更した設定はすべて元に戻ります。この機能を使うときには、パスワードをかけることができます。パスワードは、Options->General->Guest Caller->Change で、設定できます。

File - Import Backup



バックアップファイルからセッティングをインポートし、バックアップファイルの内容ですべてのセッティングを書き換えます。

File - Export Backup

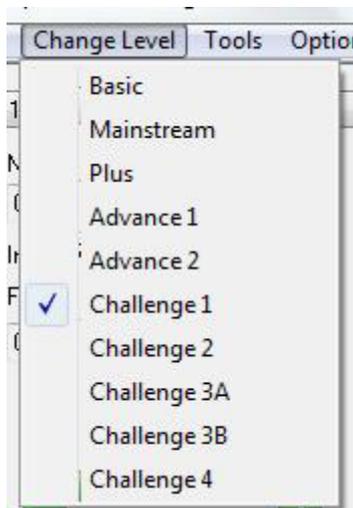


すべてのユーザー設定ファイルを、まとめて一つのバックアップファイルに保存します。保存する際には、バックアップファイルのファイル名を指定します。使用済のコレオグラフィーのリストのファイルは、初めてこの機能を使ったときに作成されます。(このファイルは最初からは存在しません)

File - Exit

プログラムを終了します。ウインドウ右上の X をクリックしても終了できます。

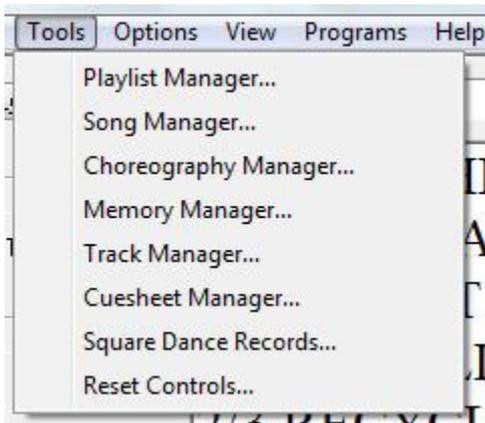
Change Level



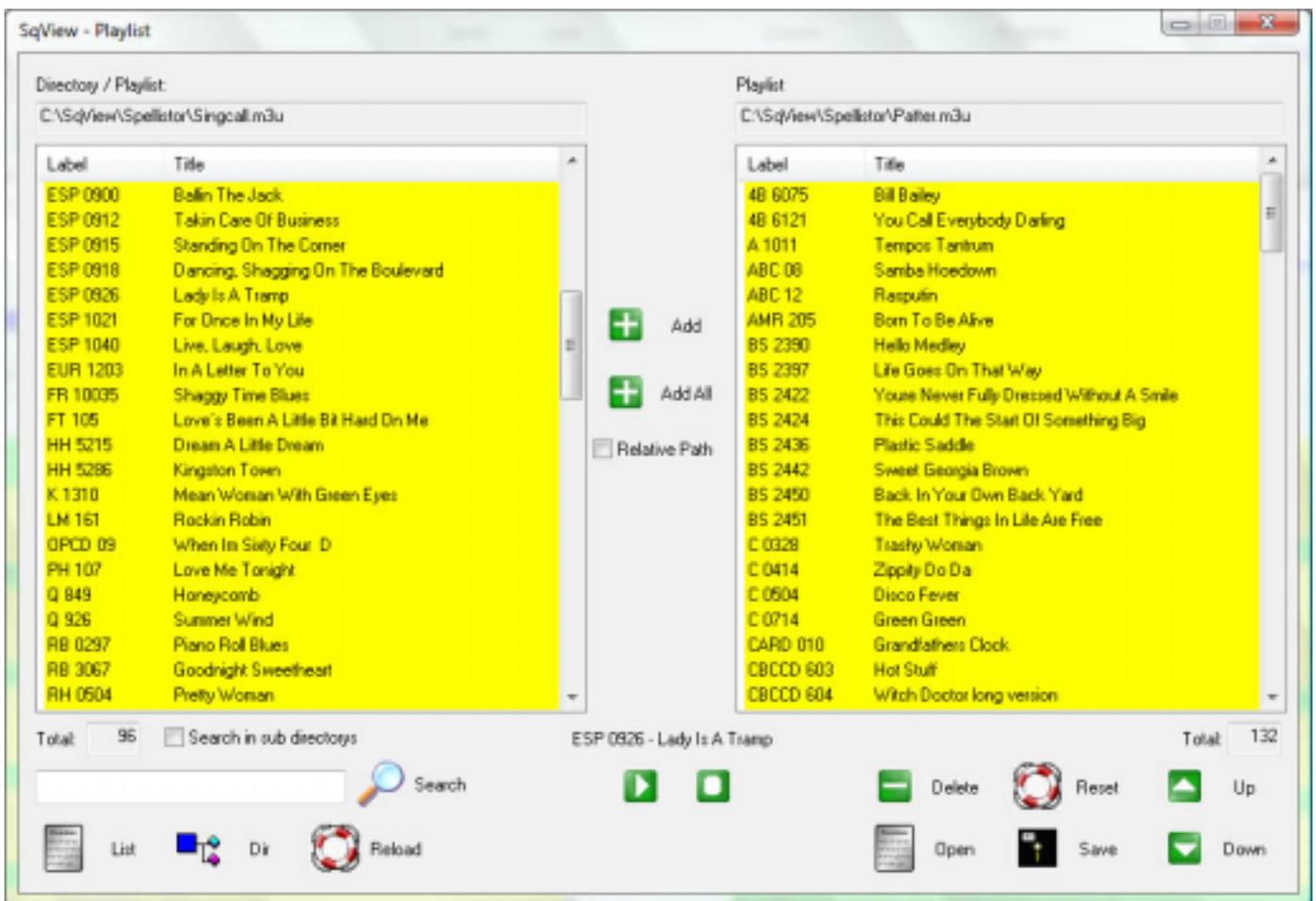
レベルの変更を行います。ここでレベルを変更すると、3 から 11 のタブの内容が変更されます。新たに曲の ini ファイル、あるいは保存フォルダーから再読み込みが行われます。それぞれのレベルに対するパスは、Options->Programs で設定できます。曲を再生中でも、レベルを変えることができます。プログラムを起動するときには、最後に使われたレベルが使われます。3 から 11 のタブは、Options->General->Show only Music and Lyrics tabs で、表示/非表示の切り替えができます。この変更は、SqView プログラムを再起動した際に有効となります。

Options->Choreography で、これらのレベルの名前を任意に変更することができます。

Tools



Tools - Playlist Manager(プレイリストマネージャー)

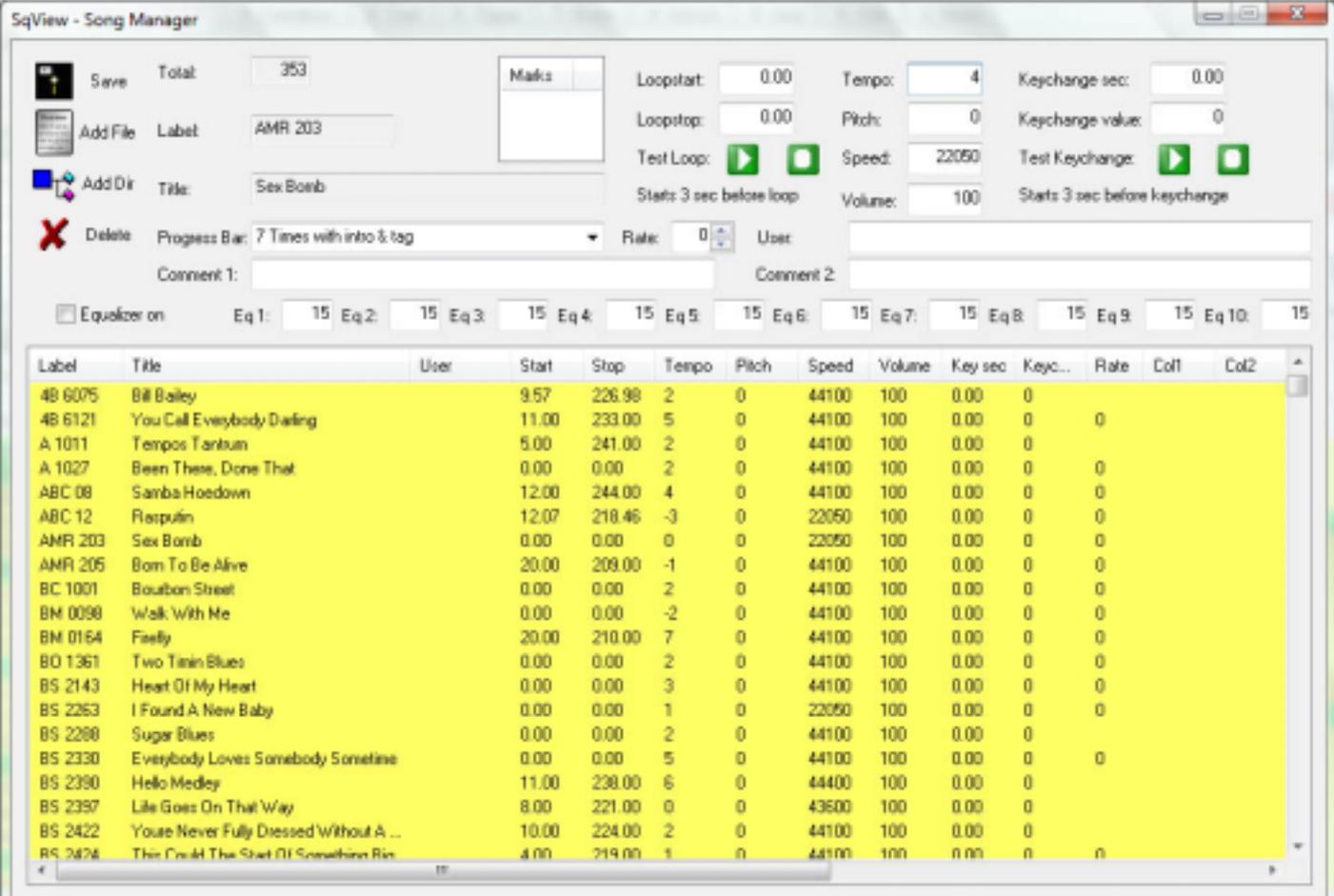


プレイリストを使うと、いろいろな使い方に対応して、レコードの管理がしやすくなります。プレイリストの保存ファイルは小さいので、音楽ファイルを複数のフォルダーに、いくつもコピーしておくよりも効率的です。

Directory / Playlist: <input type="text" value="C:\Thomas\MP3\Spellistor\Singcall.m3u"/>	その下のリストボックスに表示されている曲のプレイリスト、あるいは、フォルダーの名前が表示されます。
<input type="text"/> 	検索キーワードを指定して、リストボックスの中からファイルを検索します。
Total: <input type="text" value="60"/>	その上のリストボックス内に表示されているファイルの数です。
<input type="checkbox"/> Search in sub directories	チェックすると、SqView は Dir (フォルダー) から曲を表示させる際に、そのサブディレクトリーの中まで、曲を検索します。
 List	その上のリストボックスに表示されるプレイリストを選択します。
 Dir	その上のリストボックスに表示されるフォルダーを指定します。
 Reload	その上のリストボックスの内容をリロードします。
	その上のリストボックス内で選択されている曲を再生します。
	曲の再生を停止します。
<input type="text" value="ESP 0926 - Lady Is A Tramp"/>	再生中の曲名が表示されます。
 Add	左側のリストボックス内で選択されている曲を、右側のリストボックス内に追加します。
 Add All	左側のリストボックス内に表示されているすべての曲を、右側のリストボックスに追加します。
<input type="checkbox"/> Relative Path	ファイルの場所を、"C:\SqView\MP3\ESP 0926 - Lady Is A Tramp.mp3"と云った絶対パスではなく、"MP3\ESP 0926 - Lady Is A Tramp.mp3"という具合に相対パスで保存します。
Playlist <input type="text" value="C:\Thomas\MP3\Spellistor\Patter.m3u"/>	その下のリストボックス内に表示されているプレイリストの名前が表示されます。
Total: <input type="text" value="103"/>	リストボックス内のファイルの数です。
 Delete	その上のリストボックス内で選択されている行を削除します。
 Reset	その上のリストボックスの内容をリロードします。

 Up	選択されている行を一つ上に上げます。
 Open	新たにファイルを開き、その上のリストボックスに内容を表示させます。
 Save	その上のリストボックスの内容をファイルに保存します。
 Down	選択されている行を一つ下に下げます。

Tools - Song Manager



Label	Title	User	Start	Stop	Tempo	Pitch	Speed	Volume	Key sec	Keyc...	Rate	Col1	Col2
4B 6075	Bill Bailey		9.57	226.98	2	0	44100	100	0.00	0			
4B 6121	You Call Everybody Darling		11.00	233.00	5	0	44100	100	0.00	0	0		
A 1011	Tempos Tantom		5.00	241.00	2	0	44100	100	0.00	0			
A 1027	Been There, Done That		0.00	0.00	2	0	44100	100	0.00	0	0		
ABC 08	Samba Hoedown		12.00	244.00	4	0	44100	100	0.00	0	0		
ABC 12	Rasputin		12.07	218.46	-3	0	22050	100	0.00	0	0		
AMR 203	Sex Bomb		0.00	0.00	0	0	22050	100	0.00	0	0		
AMR 205	Bom To Be Alive		20.00	209.00	-1	0	44100	100	0.00	0	0		
BC 1001	Bourbon Street		0.00	0.00	2	0	44100	100	0.00	0	0		
BM 0098	Walk With Me		0.00	0.00	-2	0	44100	100	0.00	0	0		
BM 0164	Finally		20.00	210.00	7	0	44100	100	0.00	0	0		
BO 1361	Two Timin Blues		0.00	0.00	2	0	44100	100	0.00	0	0		
BS 2143	Heart Of My Heart		0.00	0.00	3	0	44100	100	0.00	0	0		
BS 2263	I Found A New Baby		0.00	0.00	1	0	22050	100	0.00	0	0		
BS 2288	Sugar Blues		0.00	0.00	2	0	44100	100	0.00	0	0		
BS 2330	Everybody Loves Somebody Sometime		0.00	0.00	5	0	44100	100	0.00	0	0		
BS 2390	Hello Medley		11.00	238.00	6	0	44400	100	0.00	0	0		
BS 2397	Life Goes On That Way		8.00	221.00	0	0	43600	100	0.00	0	0		
BS 2422	Youre Never Fully Dressed Without A ...		10.00	224.00	2	0	44100	100	0.00	0	0		
BS 2424	This Could The Start Of Something Big		4.00	219.00	1	0	44100	100	0.00	0	0		

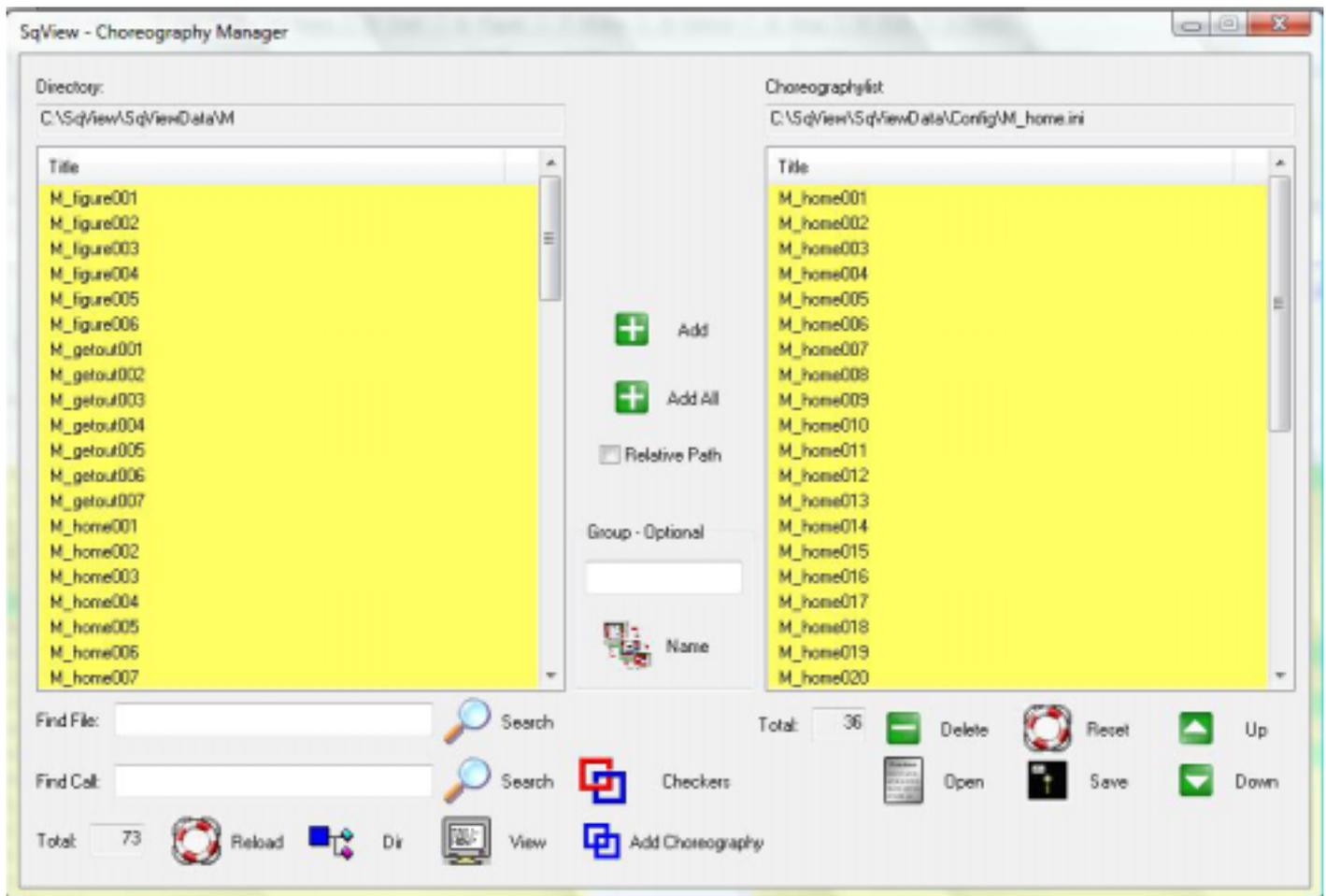
ソングマネージャーを使って、ループデータベースの内容を修正することができます。修正したい曲をダブルクリックして選択します。

 Save	変更した値を、ループデータベースに保存します。
 Add File	ループデータベースにファイルを追加します。

 Add Dir	フォルダー内のすべてのファイルをループデータベースに追加します。
 Delete	ループデータベースからファイルを削除します。
Total: <input type="text" value="269"/>	ループデータベースに含まれているファイルの数です。
Label: <input type="text" value="AMR 203"/>	選択されているファイルのレコード番号です
Title: <input type="text" value="Sex Bomb"/>	選択されているファイルのタイトルです。
Marks <input type="text"/>	選択されているファイルのマークが表示されます。
Loopstart: <input type="text" value="0.00"/> Loopstop: <input type="text" value="0.00"/> Test Loop:   Starts 3 sec before loop	選択されている曲のループスタート、ストップ位置が表示されます。ここで、ループの具合を確認して、メインの画面で行う、スタート、ストップ位置の設定ボタンによる方法よりも、細かく微調整を行うことができます。
Tempo: <input type="text" value="2"/> Pitch: <input type="text" value="0"/> Speed: <input type="text" value="22050"/> Volume: <input type="text" value="100"/>	選択されている曲のテンポ、ピッチ、スピード、ボリュームが表示されます。
Keychange sec: <input type="text" value="0.00"/> Keychange value: <input type="text" value="0"/> Test Keychange:   Starts 3 sec before keychange	選択されている曲のキーチェンジの設定が表示されます。ここで、設定を確認して、微調整することができます。
Progress Bar: <input type="text" value="7 Times with intro & tag"/>	画面下に表示されるプログレスバーの表示設定を行います。
Rate: <input type="text" value="0"/>	選択された曲ファイルに対して、5段階でレートを付けることができます。
User: <input type="text"/>	設定を保存したユーザーの名前が表示されます。ユーザーが選択されていない場合には、空欄となります。
Comment 1: <input type="text"/>	コメント 1。Music タブにおいて、Options->Music->Extended info にチェックが付けられていると表示されます。
Comment 2: <input type="text"/>	コメント 2。Music タブにおいて、Options->Music->Extended info にチェックが付けられていると表示されます。

<input type="checkbox"/> Equalizer on	選択されたファイルに対して、イコライザー設定を有効にします。
Eq1: <input type="text" value="15"/>	選択された曲のイコライザー EQ 1-10

Tools - Choreography Manager



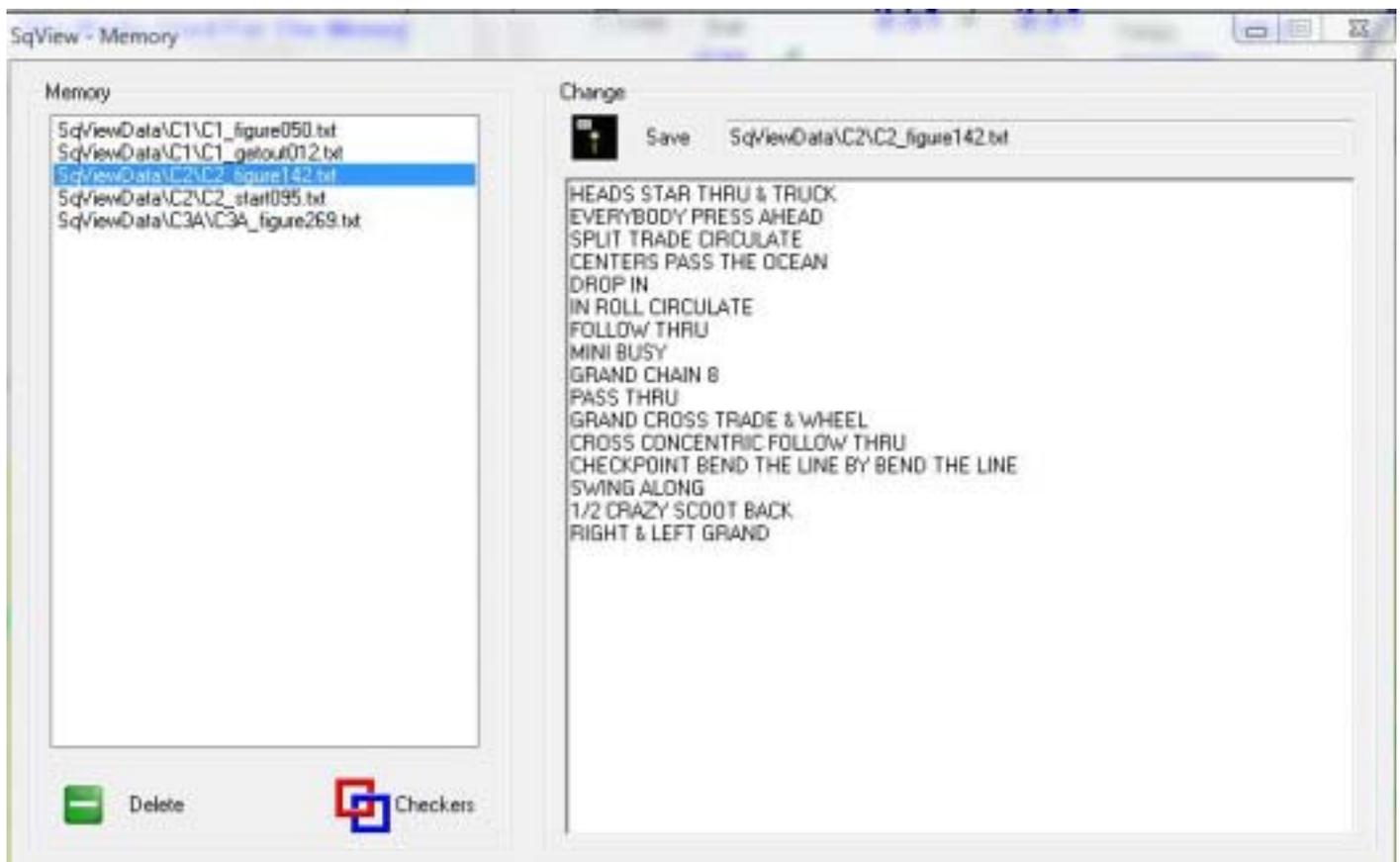
コレオグラフィーマネージャーでは、コレオグラフィの管理をします。丁度、曲に対してプレイリストを作るように、コレオグラフィに対してもプレイリストを作れます。

Directory: <input type="text" value="C:\SqView\SqViewData\VP"/>	その下のリストボックスに表示されるフォルダー名です。
Find File: <input type="text"/>	リストボックス内から、検索キーワードに一致するファイルを検索します。
Find Call: <input type="text"/>	リストボックス内のファイルから、検索キーワードに一致するコールを検索します。

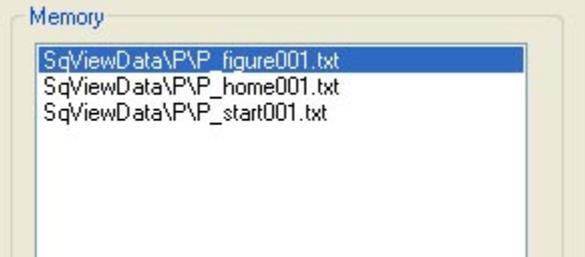
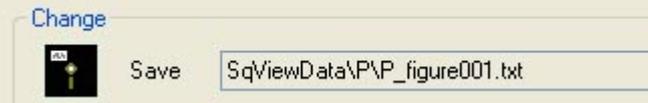
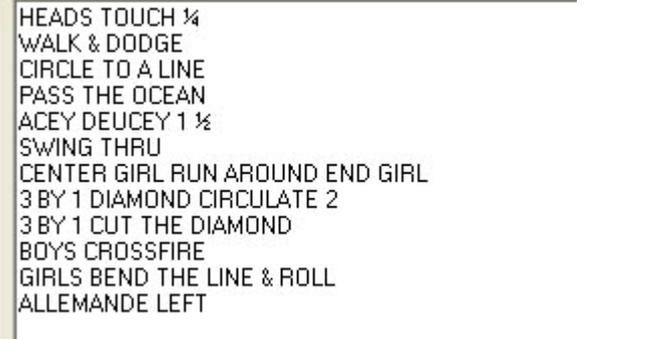
Total: 133	リストボックス内のファイルの数です。
 Reload	その上のリストボックスの内容をリロードします。
 Dir	リストボックスに表示させるフォルダーを指定します。
 View	選択したファイルを、別ウインドウに表示します。ここで開いたファイルは、ウインドウ内で編集し、保存することができます。
 Checkers	Options->General->Checkers で指定したコレオグラフィープログラムを開始します。
 Add Choreography	新たにコレオグラフィーを書いて、ファイルに保存します。
<div data-bbox="97 734 357 981"> <p>Group - Optional</p> <input type="text"/>  Name </div>	<p>一つのプレイリストの中で、異なったコレオグラフィーファイルのグループを作ることができます。グループの名前を入力し、Name ボタンをクリックします。次に、別のグループ名を入力し、再び Name ボタンをクリックし、同様にして次のグループに含めたいファイルを追加してゆきます。</p> <p>コレオグラフィータブでプレイリストを使っているときに、「+」あるいは「-」キーを使って次のファイルに移動すると、このグループの中のみで動きます。「+10」「-10」を使うと、次のグループに移動します。</p>
 Add	左側のリストボックスから選択したファイルを、右側のリストボックスに追加します。
 Add All	左側のリストボックスの全てのファイルを、右側のリストボックスに追加します。
<input type="checkbox"/> Relative Path	すべてのファイルに、 "C:\SqView\SqViewData\M\M_home001.txt"と云った、絶対パスではなく、 "SqViewData\M\M_home001.txt" と云う具合に相対パスを付けます。
Choreographylist <input type="text" value="C:\SqView\SqViewData\Config\P_start.ini"/>	その下のリストボックスに表示されているファイルの名前
Total: 39	リストボックス内のファイルの数
 Delete	その上のリストボックス内から、選択された行を削除します。ファイルそのものが削除されるわけではありません。
 Reset	その上のリストボックスの内容をリロードします。
 Open	新たにファイルを開き、その上のリストボックス内に表示します。

 Save	リストボックスの内容をファイルに保存します。
 Up	選択されている行を一つ上にあげます。
 Down	選択されている行を一つ下に下げます。

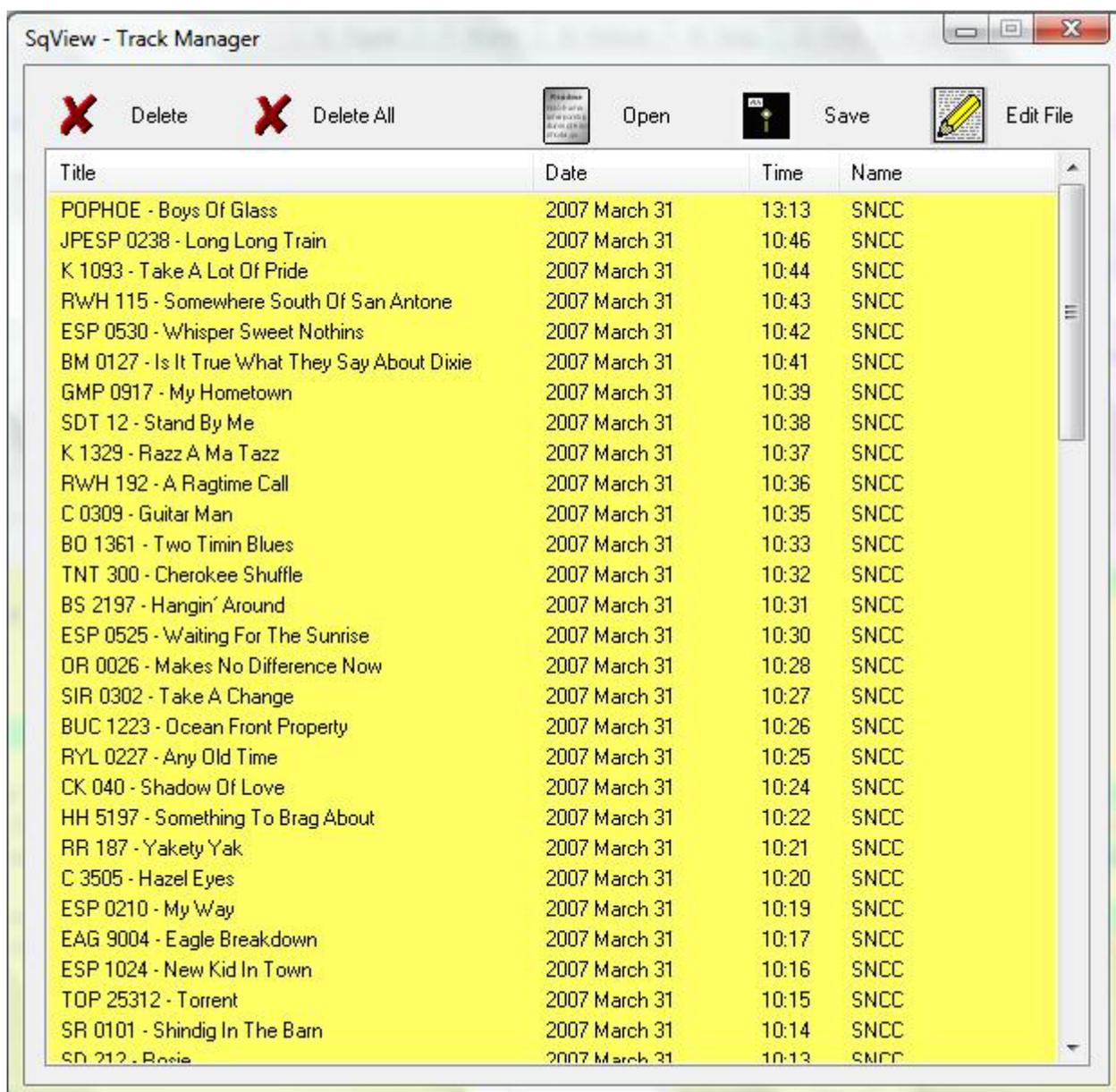
Tools - Memory Manager



メモリーマネージャーは、なんらかの理由で、ダンスの後で記録しておきたいときに使用します。コレオグラフィータブのいずれかでメモリーボタンが押された場合、使用したフィギュアが保存されているパスがファイルに記録されます。メモリーマネージャーファイルのパスは、Options->General->Memoryで確認できます。

	<p>メモリーデータベースの中のすべてのファイルを表示します。</p>
	<p>リストの中から、選択した行を削除します。</p>
	<p>Options->General->Checkers で指定された、コレオグラフィーソフトウェアを起動させます。</p>
	<p>ファイルを保存します。Save ボタンの右に、ファイルのパスが表示されます。</p>
	<p>ファイルに保存されているコレオグラフィーを表示します。ファイルに保存する前に、ここで編集することができます。</p>

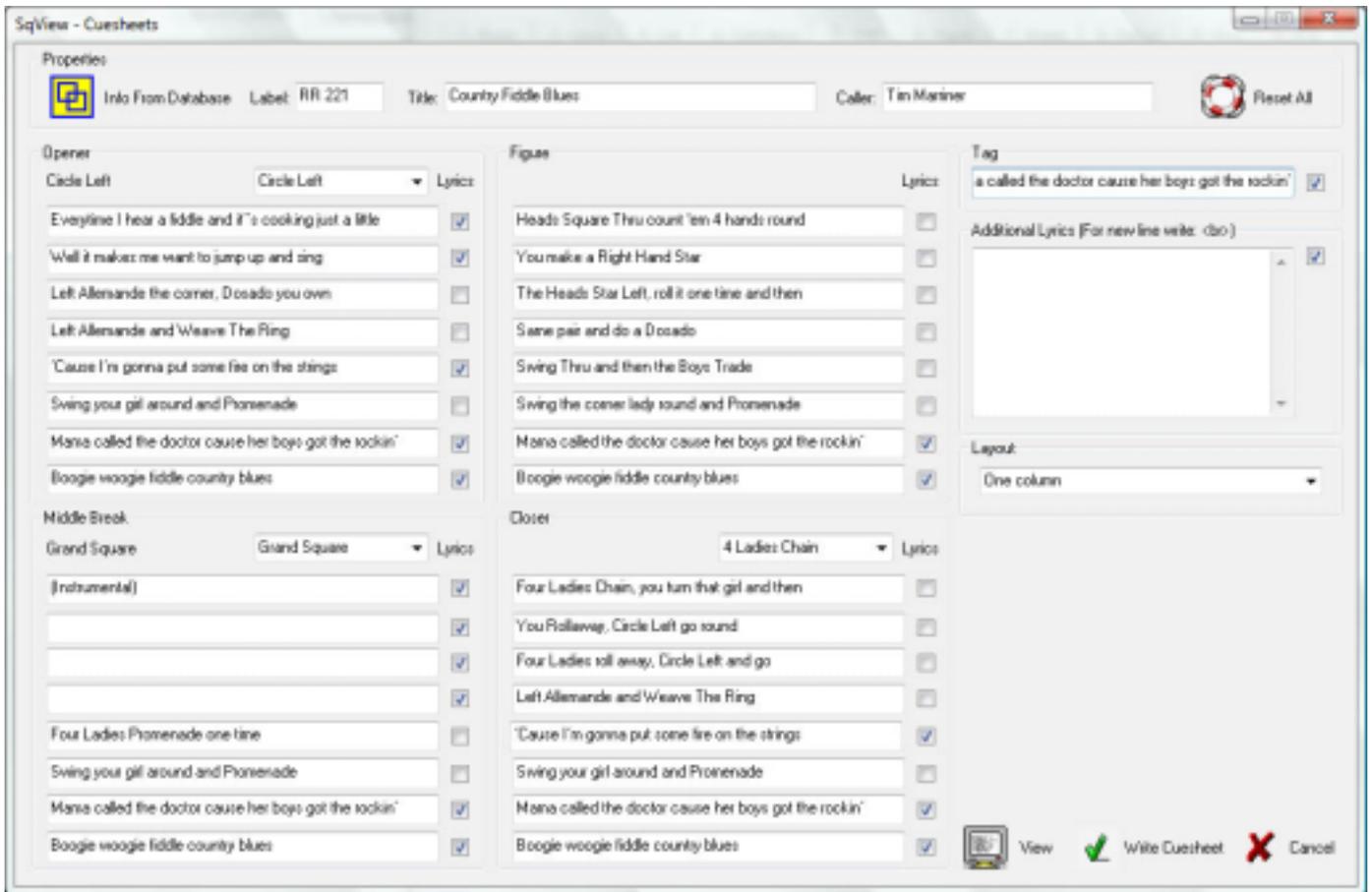
Tools - Track Manager



トラックマネージャーでは、曲が、いつ、どこで使われたかを記録しておくことができます。記録には、曲が再生された日時と、パーティー、例会などの名前が含まれています。トラッキングを開始するには、Music タブで、Tracking のチェックボックスがチェックされている必要があります。

 Delete	選択された行を削除します。
 Delete All	記録のすべてのリストを削除します。
 Open	トラックデータベースを開きます。
 Save	選択されたラインをファイルに保存します。
 Edit File	データベースファイルを開き、編集します。

Tools - Cuesheet Manager



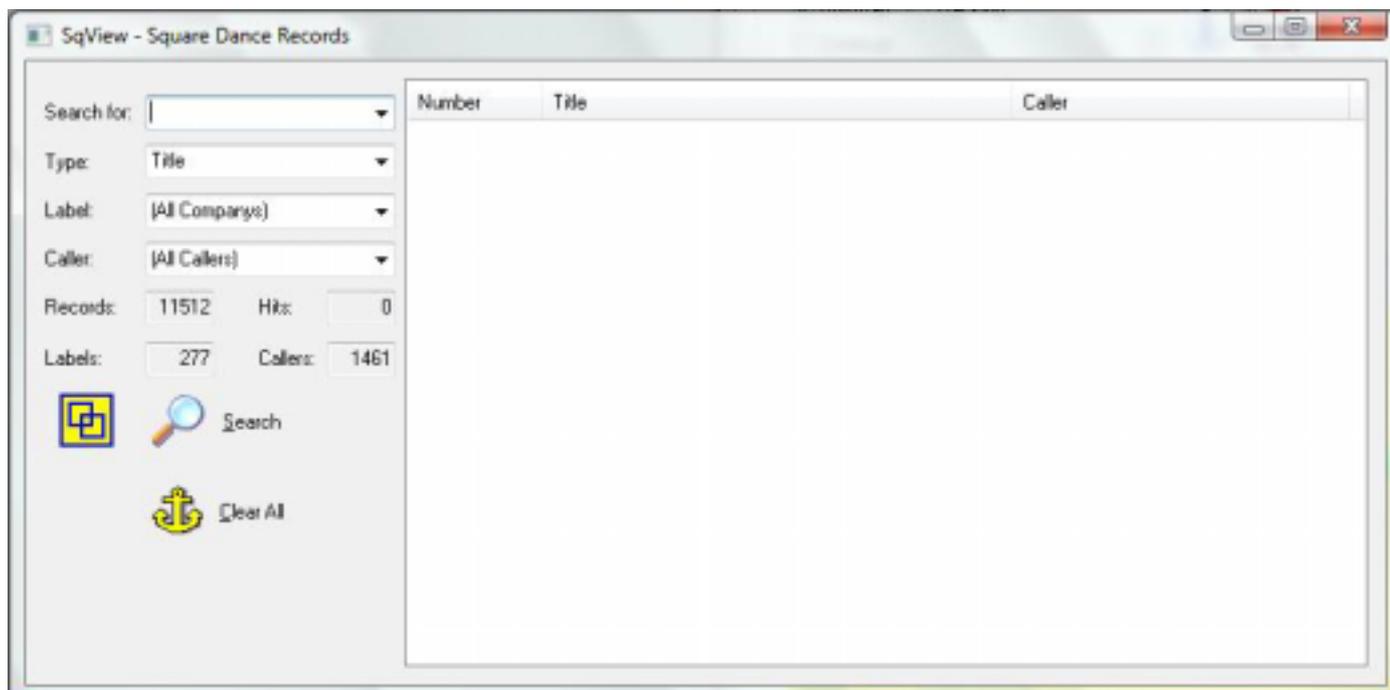
シンギングコールのためのキューシートを作成するために使います。レコードデータベースからレコード番号、タイトル、コーラー名を参照すると、間違いなくそれらを入力することができます。

 Info From Database	レコードデータベースから、情報を取り出します。上記のとおり、ネーミングに関して、間違いを防げます。
Label: <input type="text" value="RR 221"/>	レーベル - レコード番号の命名法を使っています。
Title: <input type="text" value="Country Fiddle Blues"/>	曲のタイトル
Caller: <input type="text" value="Tim Mariner"/>	レコード、CD、Mp3 等のコーラー名
 Reset All	それまでの入力内容を破棄し、すべて、初期値に戻します。

<p>Opener</p> <p>Grand Square Grand Square Lyrics</p> <p>Every time I hear a fiddle & it's cookin just a little <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>Well it makes me want to jump up and sing <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>Put some boogie rhythm in it, kick it right up to the limit <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>'Cause I'm gonna put some fire on the strings <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>Four Ladies Promenade one time <input type="checkbox"/></p> <p>Swing your girl around and Promenade <input type="checkbox"/></p> <p>Mama call the doctor cause the boy's got the rockin' <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>Boogie woogie fiddle country blues <input checked="" type="checkbox"/></p>	<p>オープナーのフィギュアです。すべての行を、任意に修正することができます。歌詞の行に対しては、それぞれの行の右にあるチェックボックスにチェックを入れることで、フィギュアと区別し、キューシートでは違う色で表示されます。フォント、色は、Options->StyleSheet で指定できます。</p>
<p>Figure</p> <p>Lyrics</p> <p>Heads Square Thru count 'em 4 hands round <input type="checkbox"/></p> <p>You make a Right Hand Star <input type="checkbox"/></p> <p>The Heads Star Left, roll it one time and then <input type="checkbox"/></p> <p>Same pair and do a Dosado <input type="checkbox"/></p> <p>Swing Thru and then the Boys Trade <input type="checkbox"/></p> <p>Swing the corner lady round and Promenade <input type="checkbox"/></p> <p>Mama call the doctor cause the boy's got the rockin' <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>Boogie woogie fiddle country blues <input checked="" type="checkbox"/></p>	<p>ヘッズ、サイズで使うフィギュアです。すべての行を任意に修正することができます。歌詞の行に対しては、それぞれの行の右にあるチェックボックスにチェックを入れることで、フィギュアと区別し、キューシートでは違う色で表示されます。フォント、色は、Options->StyleSheet で指定できます。</p>
<p>Middle Break</p> <p>Grand Square Grand Square Lyrics</p> <p>(Instrumental) <input checked="" type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>Four Ladies Promenade one time <input type="checkbox"/></p> <p>Swing your girl around and Promenade <input type="checkbox"/></p> <p>Mama call the doctor cause the boy's got the rockin' <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>Boogie woogie fiddle country blues <input checked="" type="checkbox"/></p>	<p>ミドルブレイクのフィギュアです。すべてのラインは任意に修正することができます。歌詞の行に対しては、それぞれの行の右にあるチェックボックスにチェックを入れることで、フィギュアと区別し、キューシートでは違う色で表示されます。フォント、色は、Options->StyleSheet で指定できます。</p>

<p>Closer</p> <p>4 Ladies Chain <input type="button" value="v"/> Lyrics</p> <p>4 boys promenade inside your ring <input type="checkbox"/></p> <p>Come home and swing & whirl your girl, you go round <input type="checkbox"/></p> <p>Well, you join hands, circle, you move it and go <input type="checkbox"/></p> <p>Left Allemande and Weave The Ring <input type="checkbox"/></p> <p>And when the and a boogie in the eye <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>Like I'm just about to blow a fuse <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>ell, you better call the doctor cause the boy's got the rockin' <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>Boogie woogie fiddle country blues <input checked="" type="checkbox"/></p>	<p>クローザーのフィギュアです。すべてのラインは任意に修正することができます。歌詞の行に対しては、それぞれの行の右にあるチェックボックスにチェックを入れることで、フィギュアと区別し、キューシートでは違う色で表示されます。フォント、色は、Options->StyleSheet で指定できます。</p>
<p>Tag</p> <p>he rockin'
Boogie woogie fiddle country blues <input checked="" type="checkbox"/></p>	<p>タグの書き込みが任意にできます。すべてのラインは任意に修正することができます。歌詞の行に対しては、それぞれの行の右にあるチェックボックスにチェックを入れることで、フィギュアと区別し、キューシートでは違う色で表示されます。フォント、色は、Options->StyleSheet で指定できます。</p>
<p>Additional Lyrics (For new line write:
)</p> <p><input type="text"/></p> <p><input checked="" type="checkbox"/></p>	<p>追加の歌詞です。html ファイルのキューシートにおいて、改行させるには
と記載します。右にあるチェックボックスチェックすると、この部分は歌詞として、キューシートでは違う色で表示されます。フォント、色は、Options->StyleSheet で指定できます。</p>
<p>Layout</p> <p>One column <input type="button" value="v"/></p>	<p>キューシートの表示を、1列にするか、2列にするかの選択ができます。2行表示を選択すると、Opener、Middle Break、及び、Closer が左側に表示され、フィギュアは右側に表示されます。</p>
<p> View</p>	<p>完成された html ファイルの状態をポップアップウィンドウ内で見ることができます。</p>
<p> Write Cuesheet</p>	<p>歌詞のフォルダー内に、キューシートを作成します。</p>
<p> Cancel</p>	<p>ダイアログを閉じます。</p>

Others - Square Dance Records



過去にリリースされたスクエアダンスレコードのデータベースです。レコード番号、タイトル、レーベル、コーラー名で検索できます。

Search for: <input type="text" value="dance"/>	検索文字列を入力します。
Type: <input type="text" value="Title"/>	検索対象を、タイトル、レコード番号、あるいは、コーラーに指定できます。
Label: <input type="text" value="(All Companyys)"/>	レコード会社を指定し、そのすべてのレコードタイトルを閲覧することができます。
Caller: <input type="text" value="(All Callers)"/>	コーラーを指定し、そのコーラーのリリースしたレコードタイトルを閲覧することができます。
Records: <input type="text" value="10474"/>	データベース内のレコードの数
Hits: <input type="text" value="47"/>	最後の検索の結果、ヒットしたレコードの数
Labels: <input type="text" value="269"/>	データベース内に存在するレコード会社の数
Callers: <input type="text" value="1355"/>	データベース内に存在するコーラーの数
 Search	データベースに対して、検索を実行します。右側のボックス内の検索結果をクリアせずに残っている場合には、その残っているリストの中から新たな検索が実行されます。こうして、複数回の検索を実行して、結果を絞り込むことができます。
<input checked="" type="radio"/> Keep <input type="radio"/> Throw	一回目の検索を実行すると表示されます。引き続き検索を行う場合に、検索キーワードを残す“Keep”か、破棄する“Throw”かを、選択しま

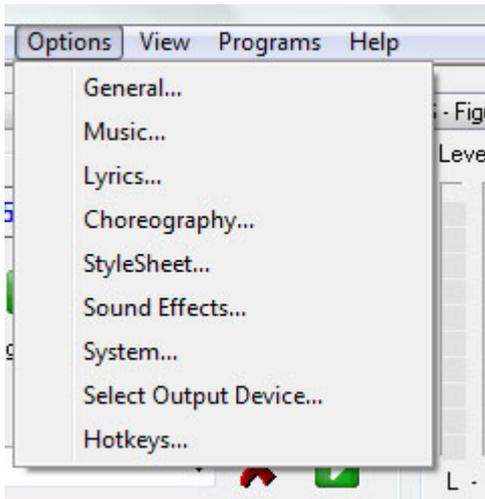
	す。
 Clear All	それまでの検索の過程をクリアし、データベース全体に対して、最初から検索を行います。
 Undo	最後に行われた検索を元に戻します。

Tools - Reset Controls

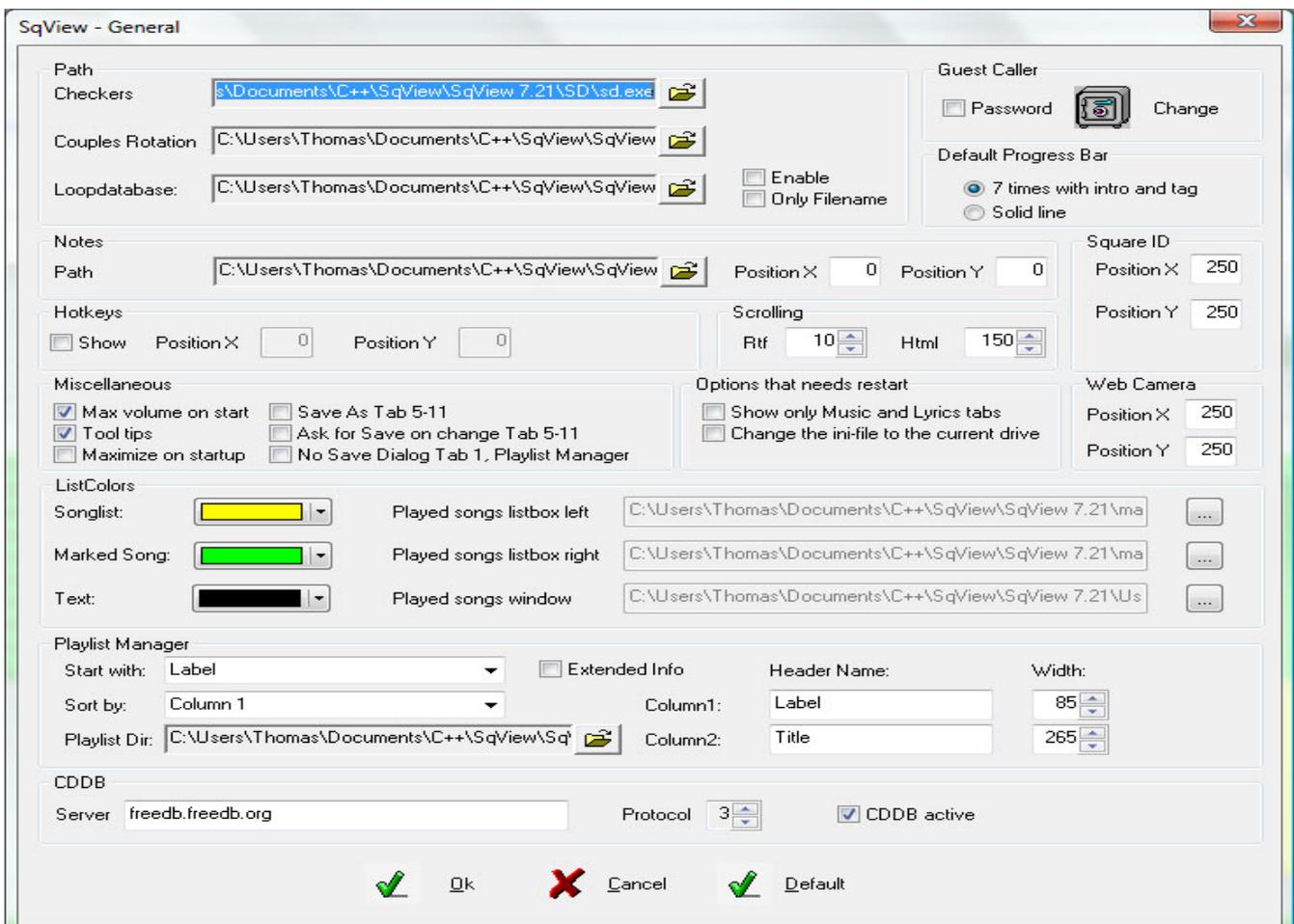


全てのコントロール値はデフォルトにリセットされます。曲の再生は中止され、ファイルは解放されます。

Options



Options - General



Path

Checkers

コレオグラフィーソフトウェアのパスを指定します。

Couples Rotation

カップルローテーションソフトウェアへのパスを指定します

Loopdatabase

デフォルト以外にも、ループデータベースのパスを指定することができます。

Enable

上のループデータベースへのパスを有効にするためには、ここをチェックする必要があります。

Only Filename

ループデータベースの検索を実行する際に、パスを使用せず、ファイル名のみで検索を行います。

Notes

Path

追加のキューシート、歌詞、その他のメモなどが格納されているフォルダーのパスを指定します。これらのファイルは、別ウインドウに開かれます。

Position X

ウインドウの表示される X 位置座標を指定します。

Position Y

ウインドウの表示される Y 位置座標を指定します。

Hotkeys

Show

チェックを入れると、アクティブタブの中で使用できるショートカットキーのリストが表示されます。F11 キーで、ウインドウの表示、非表示が切り替えられます。

Position X

ウインドウの表示される X 位置座標を指定します。

Position Y

ウインドウの表示される Y 位置座標を指定します。

Scrolling

RTF

rtf ファイル上で、page up/page down あるいは、up/down 矢印キーが押されたときにスクロールする量を指定できます。

HTML

html ファイル上で、page up/page down あるいは、up/down 矢印キーが押されたときにスクロールする量を指定できます。

Miscellaneous

Max volume on startup(開始時音量を最大にする)

ソフトウェア起動時に、PC の音量を最大にします。ミュートされている場合、ミュートは無効になります。この機能は、Vista では機能しません！

Tool tips(ツールチップ)

画面上のコントロールにカーソルを合わせたときに、ツールチップを表示します。

Save As Tab 5-11

ここにチェックしておくと、5～11 のタブで Save ボタンをクリックした際に、自動的にファイルの上書きをするのではなく、名前を付けて保存のダイアログを開きます。

Ask for Save on change, Tab 5-11

コレオグラフィーに変更を加えた後に、新しいファイルを表示させようとしたときに、元のファイルの変更を保存するかどうかのメッセージを表示します。

No Save dialog Tab 1, Playlist dialog

チェックしておくと、プレイリストに対する変更点を保存ダイアログを表示させることなく、自動的にファイルに書き込み保存します。

Web Camera

Position X

カメラウインドウのX座標位置

Position Y

カメラウインドウのY座標位置

Square ID

Position X

ウインドウのX座標位置

Position Y

ウインドウのY座標位置

Options that needs restart (変更を有効にするために再起動が必要なもの)

Show only Music and Lyrics tabs

チェックしておく、最初の二つのタブ(Music と Lyrics)のみが表示されます。変更した後に、ソフトウェアを再起動すると有効となります。

Change the ini-file to the current drive

ini ファイルをカレントドライブに変更

チェックすると、すべての音楽、およびコレオグラフィーへのパスが、SqView が実行されているドライブにセットされます。その他のファイルパスは変更されません。

List Colors

Songlist

リストボックス内に表示される曲のバックグラウンドカラーを指定します。

Marked Song

使用した曲のバックグラウンドカラーを指定します。

Text

リストボックス内の曲名テキストの色を指定します。

Played songs listbox left

左のリストボックス内でマークされた曲の名前を保存するファイルのパスを指定します。指定がない場合には、デフォルトのフォルダーが使用されます。

Played songs listbox right

右のリストボックス内でマークされた曲の名前を保存するファイルのパスを指定します。指定がない場合には、デフォルトのフォルダーが使用されます。

Played songs Window

ウィンドウ表示のリストボックス内でマークされた曲の名前を保存するファイルのパスを指定します。指定がない場合には、デフォルトのフォルダーが使用されます。

Default Progress Bar

プログレスバーの表示方法を変更します。Options->Song Manager で、曲ごとに設定することも可能です。

7 Times with intro and tag(イントロ、タグ付き7分割表示)



Solid line(分割なし)



Guest Caller

Password

チェックすると、ゲストコーラーモードを解除する際に、パスワードの入力が必要となります。

Change

ゲストコーラーモードのパスワードを変更します。

PlayList Manager

Start with

リストの先頭をタイトルにするか、あるいはレコード番号にするかの指定をします。

Sort by

リストボックス内でソートするために使う列を指定します。

Playlist Dir

プレイリストを保存するデフォルトのディレクトリーを指定します。

Extended Info

個々の曲に対して、追加で情報を記入しておくことができます。Song Manager でデータを入力します。

Header Name

カラム 1、2 のヘッダー名を指定します。

Width

これらカラムの列幅を指定します。ゼロを指定すると、その列はリストボックス内に表示されなくなります。

CDDB

CDDB active

CDDB とは CD、レコードの、トラックネーム、アルバム、アーティストに関するデータベースで、これを有効にします。

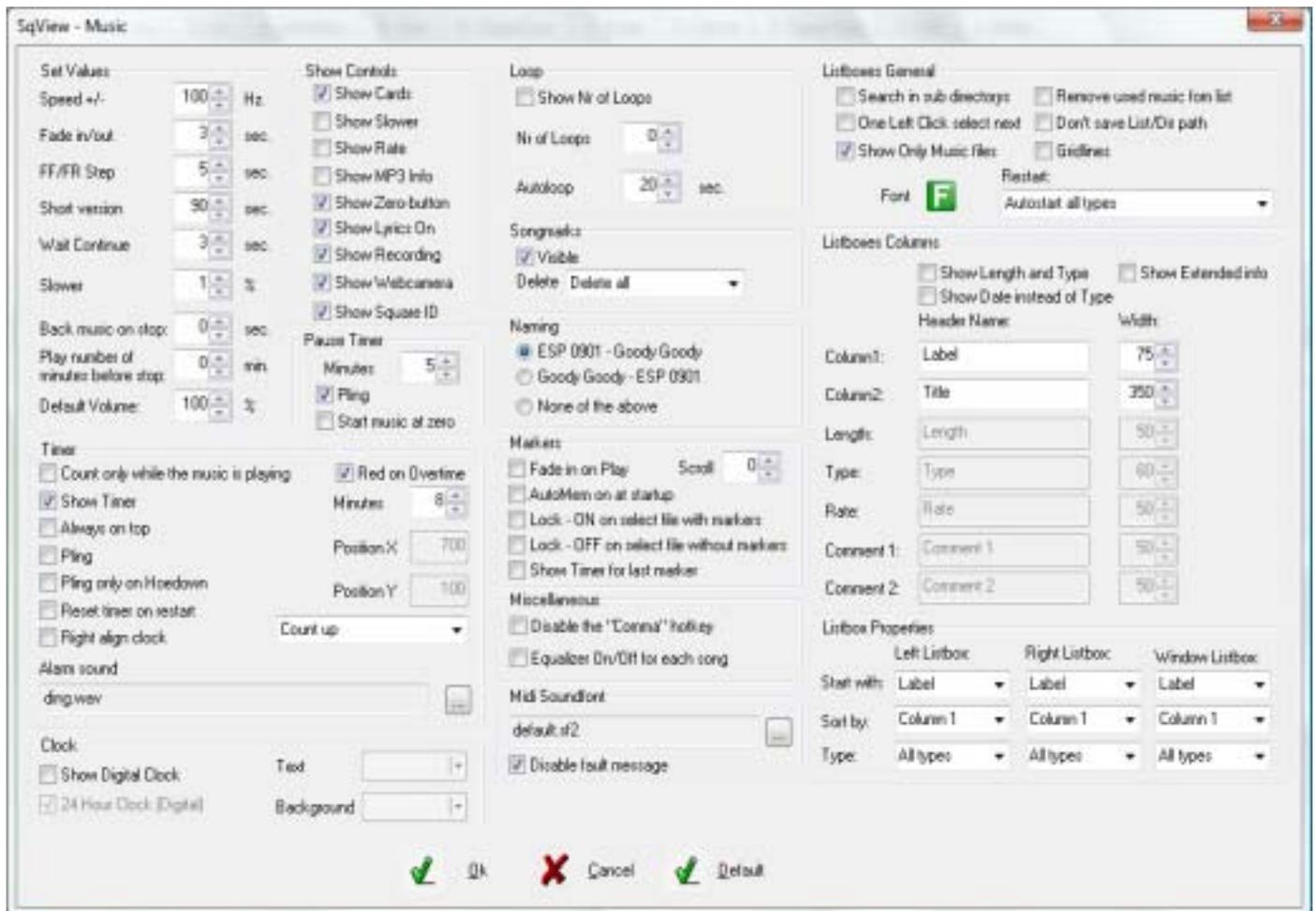
Server

SqView が参照するサーバーを指定します。

Protocol

使用するプロトコールを指定します。

Options - Music



Set Values(値を設定するもの)

Speed +/- (速さ)

"C" あるいは "V" キーを押した際に変化する速さの量 (周波数ヘルツ) で指定します。

Fade in/out (フェードイン・アウト)

"Y" キーを押したときにフェード イン・アウトする時間を秒で指定します。

FF/FR Step (早送り、早戻しのステップ)

"P"/"O" キーを押して、それぞれ早送り、早戻しさせるさいにジャンプする秒数を指定します。

Short version (ショート再生)

Continue、Short が指定されているときの、一曲の再生時間 (秒) を指定します。

Wait Continue

Continue が指定されているとき、次の曲の再生が始まるまでの時間 (秒) を指定します。

Slower

Slower が指定されているときにゆっくりさせる速度のパーセント値を指定します。

Back music on stop

曲の再生を停止させたときに、ここで指定された秒数、タイマーが戻ります。

Play number of minutes before stop

曲を指定時間(分)再生した後、フェードアウトします。

Show Controls(表示のコントロール)

Show Cards

コンピューターカードのコントロールを表示させます。

Show Slower

Slower のチェックボックスが表示されます。

Show Rate

Rate のコントロールが表示されます。

Song MP3 Info

チェックすると、MP3 形式の曲が選択されたときに、「MP3 情報を表示する」のアイコンが表示されます。

Song Zero-button

ゼロボタンを表示させます。

Show Lyrics On

チェックすると、Music タブ内の二つのリストボックスの間に、4 個のチェックボックスが表示されます。これらのチェックボックスで、歌詞の検索を左右のリストボックス、Music ウィンドウで実行するかどうかの設定ができます。

Show Recording

チェックすると、録音ボタンのアイコンが表示されます。

Show Webcamera

チェックすると、ウェブカメラのアイコンが表示されます。

Show Square ID

スクエア ID のアイコンが表示されます。

Pause Timer

Minutes

休憩タイマーの時間(分)を指定します。

Pling

タイマーがゼロになったとき、チャイムを鳴らします。

Start music at zero

タイマーがゼロになった時に、選択されている曲の再生を開始します。

Timer

Count only while the music is playing(再生時のみカウント)

チェックすると、曲の再生が行われているときにのみ、タイマーが進みます。チェックしていない場合、曲を停止させても、タイマーは進み続けます。

Show Timer

チェックすると、タイマーが表示されます。

Always on top

チェックすると、タイマーが別ウインドウで、常に手前に表示されます。

Pling

タイマーがゼロになった時に、チャイムを鳴らします。

Pling only on hoedown

リストボックスが Hoedown に指定されているときにのみ、チャイムを鳴らします。

Reset Timer on Restart

ピリオド"." キーで曲の再生を開始したときに、タイマーをリセットします。

Right Align Clock

常に時計をウインドウ内の右端に表示します。

Red On Overtime

チェックすると、設定時間を超過したときに時計とプログレスバーが赤色に変わります。

Minutes

アラームタイマーがカウントダウンの際の、時間を指定します。カウントタイマーがゼロになると、表示が赤色の点滅になり、時間はカウントアップされます。

Position X(X 位置)

常に手前に表示で表示される別ウインドウのアラームタイマーの表示位置座標(横)。画面左上が原点となります。

Position Y(Y 位置)

常に手前に表示で表示される別ウインドウのアラームタイマーの表示位置座標(縦)。画面左上が原点となります。

Selection of how to count(カウント方法)

アラームタイマーは以下の3通りの設定ができます。

1. カウントアップ - 曲の再生が開始されると、タイマーはゼロからカウントアップされます。
2. 曲の時間カウントダウン - 曲の再生が始まると、タイマーは曲の長さの時間からのカウントダウンを行います。
3. 指定時間カウントダウン - 曲の再生が始まると、タイマーは指定時間(分)からのカウントダウンを行います。途中で、ショートカットキー“J”でカウントアップ、カウントダウンの切り替えが行えます。

Alarm Sound

アラームに使われるサウンドファイルを指定します。指定がない場合には、デフォルトファイルが使用されます。

Clock

Show Digital Clock

チェックすると、アナログ時計の代わりにデジタル表示の時計に変わります。

24 Hour Clock (Digital)

デジタル時計のときに、24 時間制の時刻を表示します。

Text

デジタル時計の文字の色を指定します。

Background

デジタル時計のバックグラウンドを指定します。

Midi Soundfont

Path

midi ファイルを再生するための soundfont へのパスを指定します。

Disable Fault Message

soundfont が見つからなかったときにエラー表示をしません。

Loop

Show Nr of Loops(ループ回数を表示)

チェックするとループ回数の指定ボックスが表示されます。

Nr of Loops(ループ回数)

プログラムで曲が最後まで演奏されるまでにループされる回数を指定します。この機能は、Show Nr of Loops で、非表示にすることができます。.

Autoloop(オートループ)

オートループが選択されたとき、ループの開始部分と終了部分のそれぞれ、曲の初めからの位置(秒数)および、曲の終わりからの秒数。

Songmarks

Visible

チェックすると、リストボックス内に演奏済みなどのソングマークが表示されます。

Delete marked row

マークの削除を実行したときに、選択された行のマークのみ消去されます。

Delete all

マークの削除を実行したときに、リストボックス内のすべてのマークが消去されます。

Show dialog

マークの削除を実行するときに、ダイアログボックスが表示されて、上のどちらを実行するかを選択ができます。

Naming

曲ファイルは、以下の3通りの方法で名前付けのルールが決められます。ここで決められたルールに従って曲名を付けておくと、曲を選択したときに歌詞の検索が正しく行われます。:

1. ESP 0901 - Goody Goody - 曲タイトルの前にレコード番号が来ます。
2. Goody Goody - ESP 0901 - 曲タイトルが先に来ます。
3. いずれでもない

Markers

Fade in on play

マーカー用のプレイボタンを使用したときに、曲がフェードインします。フェードインの秒数を、Set Values->Fade in/out で指定できます。

AutoMem on at Startup

チェックすると、プログラム開始時に AutoMem 機能が有効となります。

Lock - ON on select file with markers

チェックしておくと、マーカーが付けられた曲が選択されたときに Lock 機能が有効となります。

Lock - OFF on select file without markers

チェックしておくと、マーカーの付けられていない曲が選択されたときに、Lock 機能が無効となります。

Show Timer for Last Marker

チェックすると、タイマーウインドウ内に、追加でタイマーが表示されます、



Miscellaneous

Disable the "Comma" Hotkey

チェックすると、カンマキーのショートカットでオートループしなくなります。

Equlizer On/Off for each song

チェックをすることで、曲ごとにイコライザーの有効/無効を指定できます。この設定は、Loop、Tempo、Markers などと一緒に、ループデータベースに保存されます。

Listbox General

Search in sub directories(サブフォルダー内も検索)

選択されているフォルダーのサブフォルダーの中からも曲を検索します。

One Left Click select next(左1回クリックで次の再生曲に追加)

右クリックをしたときと同様、左クリック一回で、リスト内の曲を次の再生リストに追加します。追加された曲は、Music 画面の Next:部分に表示されます。登録されている曲の一覧は、表示部右の下三角 をクリックすると、見ることができます。

Show only musicfiles(音楽ファイルのみ表示)

チェックすると、プログラムで再生可能な曲のみがリストボックス内に表示されます。

Font

リストボックス内の文字のフォント、サイズを指定します。

Remove used music from list(再生後リストから削除)

曲を 10 秒間再生した時点で、その曲をリストボックスから削除します。(リロードをすれば、再び表示されます)

Don't save List/Dir path

チェックすると、選択されたリスト、フォルダーへのパスを ini ファイルに記録しません。

Gridlines(罫線)

チェックすると、リストボックス内に罫線が表示されます。

Restart(“.”ピリオドキーによる、再スタート)

1. Autostart all types. :すべての曲を自動的に再スタートします。
2. Autostart Hoedowns, but not singingcall. :リストが Hoedown に指定されているときにのみ自動再スタート、SingingCall に指定されているときには、再スタートしません。
3. Rewind, but don't start. :曲の先頭に戻りますが、自動スタートはしません。

Listbox Columns(リストボックスの列の設定)

Show Length and Type(長さの種類を表示)

チェックすると、レコード番号、曲名の後の列に、曲の長さ、Mp3、Wave などの種類が表示されます。

Show Extended Info(追加の情報を表示)

それぞれの曲に対して入力した追加の情報を表示させます。追加の情報は、ソングマネージャーで入力します。

Show Date instead of Type(種類の代わりに日付を表示)

ファイルの種類を表示する代わりに、ファイルが作成された日付を表示します。

Header Name

列 1~7 の見出しを入力します。

Width(列幅)

表示列幅を指定できます。“0”ゼロを指定すると、その列は非表示となります。

Start with(最初の列)

リストボックスの最初の列を、タイトル、レコード番号のいずれにするかを選択します。

Sort by(ソート)

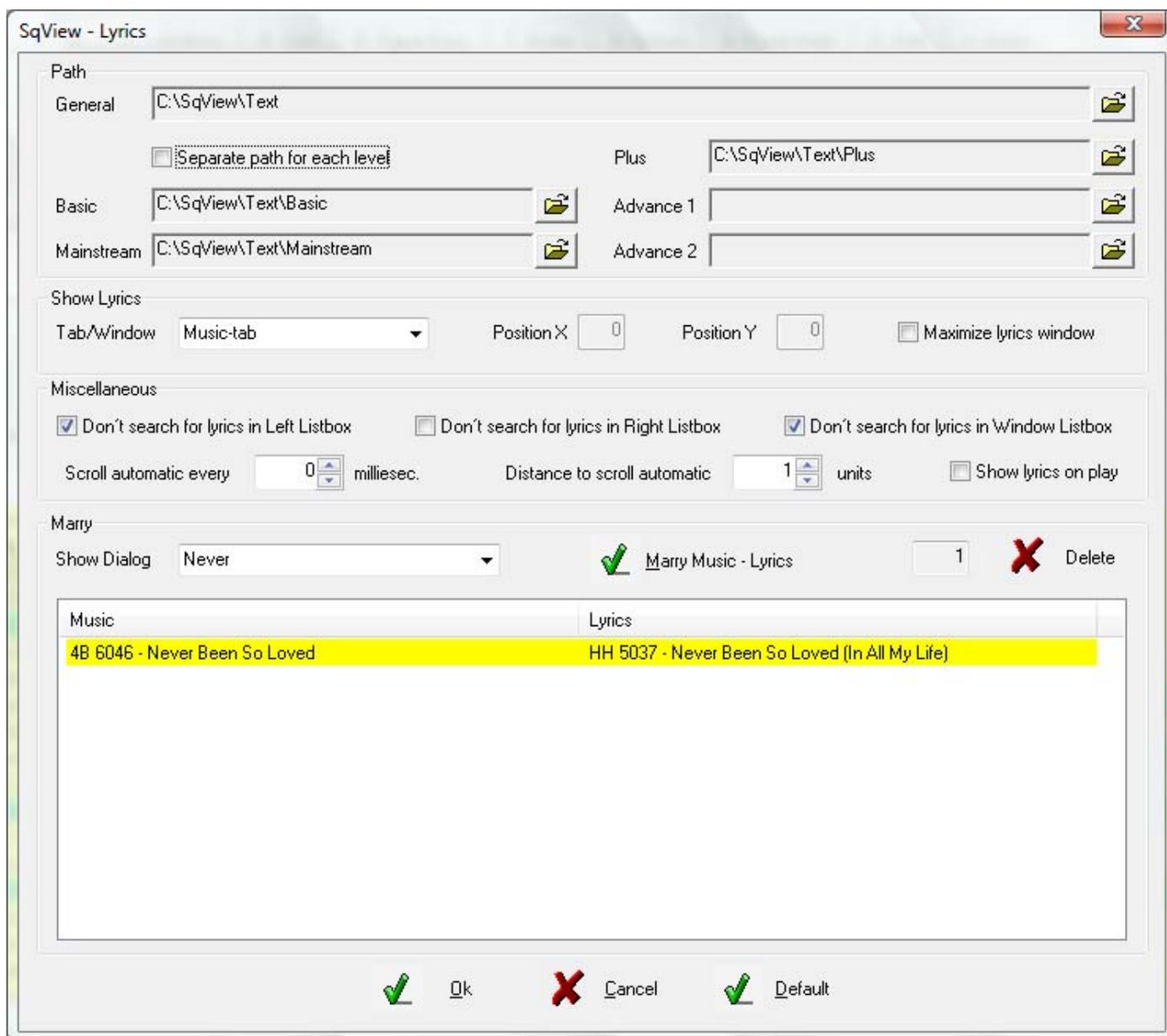
リストボックスの表示順を決定するためのソートを行う、列を指定します。

Type(種別)

この機能を使い、左右のリストボックスを Hoedown に使用するか、Singing に使用するかを定めることができます。選択肢は：

1. All type - そのまま。リストボックスは、両方に使用できます。
 2. Hoedown - 自動的にループが有効になります。ループのスタート位置、ストップ位置が指定されていない場合には、オートループが有効となります。
 3. Singing call - ループが無効になります。
-

Options - Lyrics



Path(パス)

Directory

キューシートの保存されているフォルダーを指定します。

Separate path for each level(レベルごとに異なるパスを検索)

チェックすると、まず、選択されているレベルごとに指定されたフォルダーからキューシートの検索を行い、そこに存在しない場合に、汎用のキューシートフォルダーからの検索を行います。

Basic - Advance 2

Basic から A2 まで、キューシートの保存されているフォルダーのパスを指定します。

Show Lyrics (歌詞の表示方法)

Tab/Window

“T”キーを押したときに表示される歌詞の表示方法は、以下の3通りあります。:

1. Lyrics のタブ
2. Music タブの下半分
3. 別ウインドウ

Position X

歌詞のウインドウの表示 X 座標位置

Position Y

歌詞のウインドウの表示 Y 座標位置

Maximize Lyrics window

チェックしておくと、タブ 2 のボタンが非表示となり、歌詞がタブ内全体に表示されます。

Miscellaneous (その他)

Don't search for lyrics in the left listbox

左のリストボックスで歌詞の検索を行いません。

Don't search for lyrics in the right listbox

右のリストボックスで歌詞の検索を行いません。

Don't search for lyrics in the window listbox

リストボックスウインドウでは歌詞の検索を行いません。

Show lyrics on play

曲の再生を開始した時点で、歌詞を表示します。

Scroll automatic every xx milliesec.

歌詞をウインドウ、あるいは Music タブ内に表示させる際、ここでの指定時間(ミリ秒)ごとに歌詞をスクロールさせます。Lyric タブ内に表示させている場合にはスクロールされません。

Distance to schroll automatic xxx units

自動スクロールが有効になっている際に、一回にスクロールするユニット数を指定します。

Marry(関連付け)

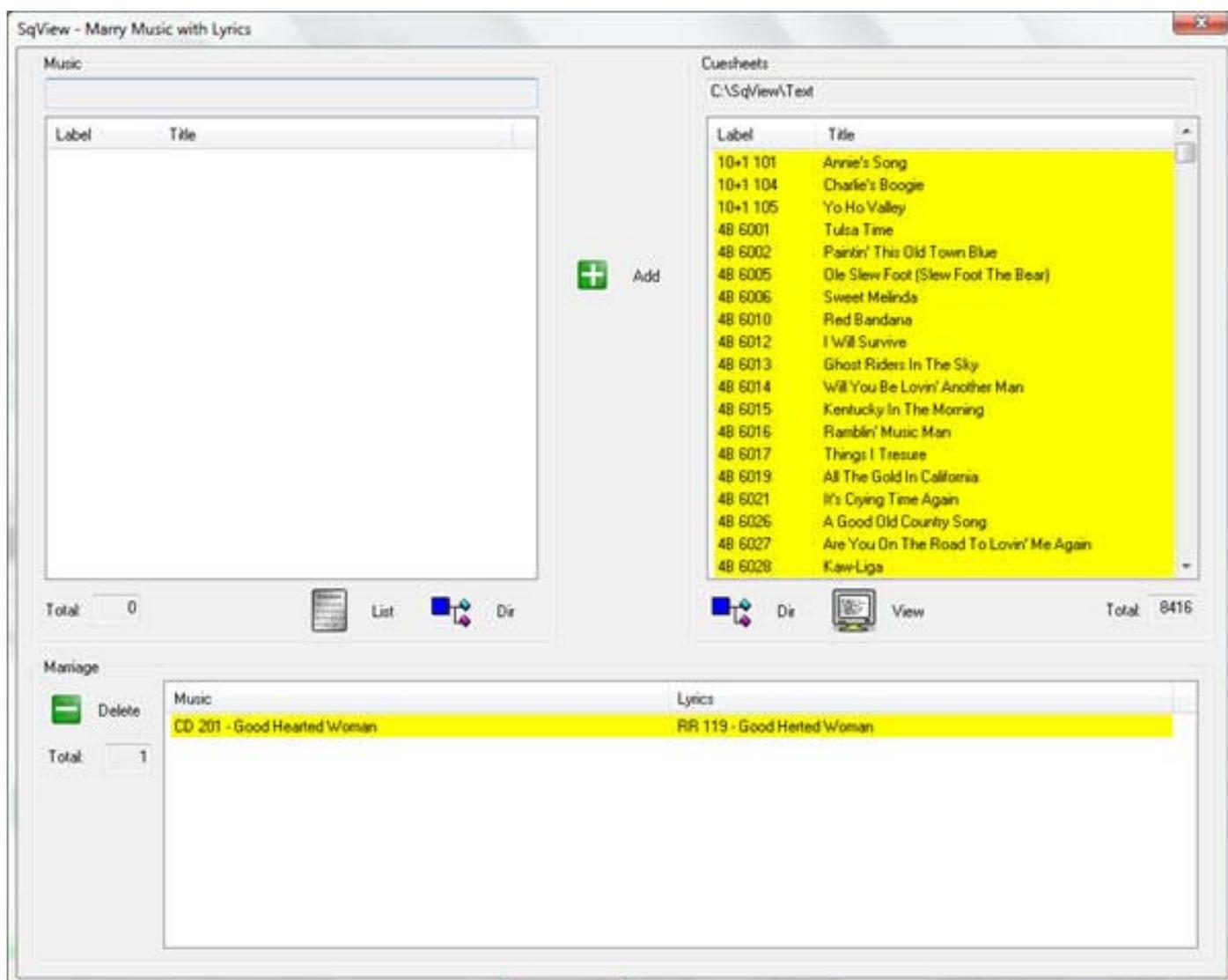
Show Dialog(ダイアログの表示)

曲と歌詞とを関連付けるためのダイアログの表示方法には、以下の3通りがあります。:

1. Never - ダイアログを表示しない
2. None Hoedown - リストボックスが Hoedown に設定されているときには表示しない。
3. Only Singingcall - リストボックスが Singing に設定されているときにのみ表示する。

Marry Music - Lyrics(曲と歌詞との関連付け)

曲と歌詞との関連付けを行うダイアログを表示します。曲の再生を開始しなくても作業が行えます。



Music C:\SqView\MP3	その下のリストボックスに表示されているディレクトリーあるいは、プレイリストの名前
Total: 60	その上のリストボックス内に表示されているファイルの数

 List	その上のリストボックス内に表示させるプレイリストを選択
 Dir	その上のリストボックス内に表示させるディレクトリーを選択
 View	選択されたファイルを別ウインドウで開きます。ファイルはウインドウ内で編集し、保存することができます。
 Add	選択された曲とキューシートとを関連付け、記録をウインドウ下のリストボックス内に追加します。
Cuesheets <input type="text" value="C:\SqView\Text"/>	その下のリストボックス内に表示されるプレイリストの名前
 Delete	その上のリストボックス内の選択されている行を削除

Options - Choreography

SqView - Choreography

Level: Plus Change

Used Choreography
 Show used files Max retrys: 20

Name

Name Tab 5	5 - Start
Name Tab 6	6 - Figure
Name Tab 7	7 - Home
Name Tab 8	8 - Getout
Name Tab 9	9 - Sing
Name Tab 10	0 - Odd
Name Tab 11	+ - Notes

Index

Index Tab 5	20	Total	53
Index Tab 6	3	Total	7
Index Tab 7	13	Total	65
Index Tab 8	1	Total	15
Index Tab 9	1	Total	7
Index Tab 10	14	Total	16
Index Tab 11	1	Total	1

Path

List	C:\SqView\Callerlab\pluslist.htm
Definitions	C:\SqView\Callerlab\plusdef.htm
Path Tab 5	C:\SqView\SqViewData\Config\P_start.ini
Path Tab 6	C:\SqView\SqViewData\Config\P_figure.ini
Path Tab 7	C:\SqView\SqViewData\Config\P_home.ini
Path Tab 8	C:\SqView\SqViewData\Config\P_getout.ini
Path Tab 9	C:\SqView\SqViewData\Config\P_sing.ini
Path Tab 10	C:\SqView\SqViewData\Config\P_odd.ini
Path Tab 11	C:\SqView\SqViewData\Config\P_notes.ini

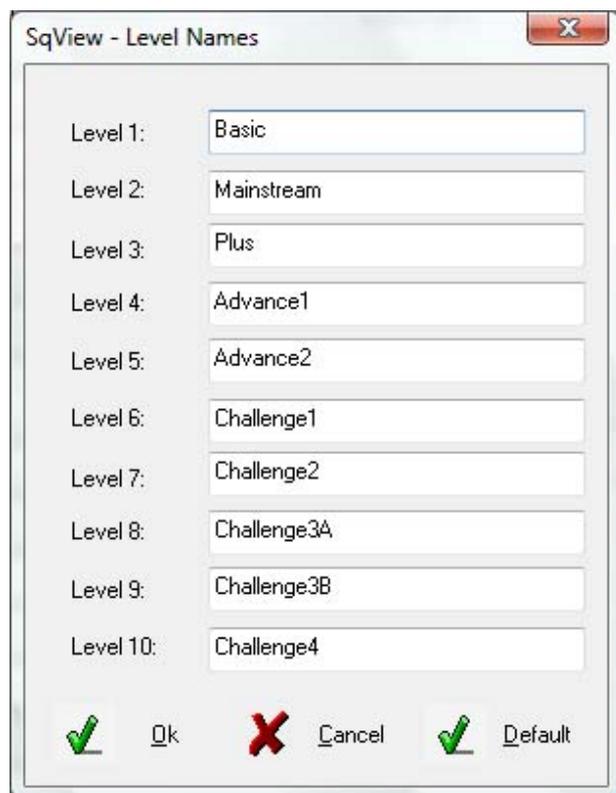
Ok Cancel Default

Program

設定したいプログラムレベルを選択します。プログラムレベルごとに異なるセッティングを設定できます。

Change

プログラム名を変更することができます。



Screenshot of the "SqView - Level Names" dialog box. The dialog contains ten text input fields labeled "Level 1:" through "Level 10:". The fields contain the following text: Level 1: Basic, Level 2: Mainstream, Level 3: Plus, Level 4: Advance1, Level 5: Advance2, Level 6: Challenge1, Level 7: Challenge2, Level 8: Challenge3A, Level 9: Challenge3B, Level 10: Challenge4. At the bottom, there are three buttons: "Ok" with a green checkmark icon, "Cancel" with a red X icon, and "Default" with a green checkmark icon.

Used Choreography

Show used files

チェックすると、使用済みマークのついたシークエンスも表示されます。使用済みのものには赤矢印マークが付けられます。チェックをクリアすると、次のマークされていないシークエンスが表示されます。

Max retrys

シークエンスでランダムボタンが選択された場合に、マークされていないファイルを探す最大回数を指定します。

Name

Name Tab 5-11

選択されたプログラムタブの名前を指定できます。タブ 5～11 のみ、ここで設定できます。

Index

Index Tab 5-11

選択されたフォルダ、あるいはコレオグラフィープレイリストのインデックス。

Total Tab 5-11

選択されたフォルダ、あるいはコレオグラフィー内のファイルの総数。

Path

List

選択されたプログラムレベルのリストへのパス

Definitions

選択されたプログラムレベルの定義へのパス

Path Tab 5-11

選択されたプログラムレベル、あるいはコレオグラフィープレイリストへのパス

Options - Stylesheet

Screenshot of the 'SqView - StyleSheet' dialog box. The dialog has a title bar with a close button. Below the title bar is a 'Stylesheets' section with a 'Name:' dropdown set to 'Large', a green checkmark icon, 'Save', a red 'X' icon, and 'Delete'. The main area is divided into six panels: 'Title', 'Label', 'Caller', 'Header', 'Lyrics', and 'Text'. Each panel has 'Font name', 'Font size', 'Font weight', and 'Text color' dropdowns. The 'Lyrics' panel also has a 'Background' dropdown. At the bottom are three buttons: a green checkmark icon, 'Write Stylesheet', a red 'X' icon, 'Cancel', and a green checkmark icon, 'Default'.

Stylesheet

Name

表示されているスタイルシートの名前

Save

ここでの設定内容を ini ファイルに保存し、スタイルシートを作成します。

Delete

ini ファイルからスタイルシートの設定値を削除します。

Title

Fontname

使用するフォント。Arial、Comic Sans MS、あるいは Times New Roman から選択します。

Fontsize

フォントのサイズ。8～72pt の範囲で選択します。

Fontweighth

フォントを通常、あるいは太字の選択をします。

Textcolor

テキストの色を指定します。

Label

Fontname

使用するフォント。Arial、Comic Sans MS、あるいは Times New Roman から選択します。

Fontsize

フォントのサイズ。8～72pt の範囲で選択します。

Fontweighth

フォントを通常、あるいは太字の選択をします。

Textcolor

テキストの色を指定します。

Caller

Fontname

使用するフォント。Arial、Comic Sans MS、あるいは Times New Roman から選択します。

Fontsize

フォントのサイズ。8～72pt の範囲で選択します。

Fontweighth

フォントを通常、あるいは太字の選択をします。

Textcolor

テキストの色を指定します。

Header

Fontname

使用するフォント。Arial、Comic Sans MS、あるいは Times New Roman から選択します。

Fontsize

フォントのサイズ。8～72pt の範囲で選択します。

Fontweighth

フォントを通常、あるいは太字の選択をします。

Textcolor

テキストの色を指定します。

Lyrics

Fontname

使用するフォント。Arial、Comic Sans MS、あるいは Times New Roman から選択します。

Fontsize

フォントのサイズ。8～72pt の範囲で選択します。

Fontweighth

フォントを通常、あるいは太字の選択をします。

Textcolor

テキストの色を指定します。

Backgroundcolor

バックグラウンドの色を指定します。

Text

Fontname

使用するフォント。Arial、Comic Sans MS、あるいは Times New Roman から選択します。

Fontsize

フォントのサイズ。8～72pt の範囲で選択します。

Fontweight

フォントを通常、あるいは太字の選択をします。

Textcolor

テキストの色を指定します。

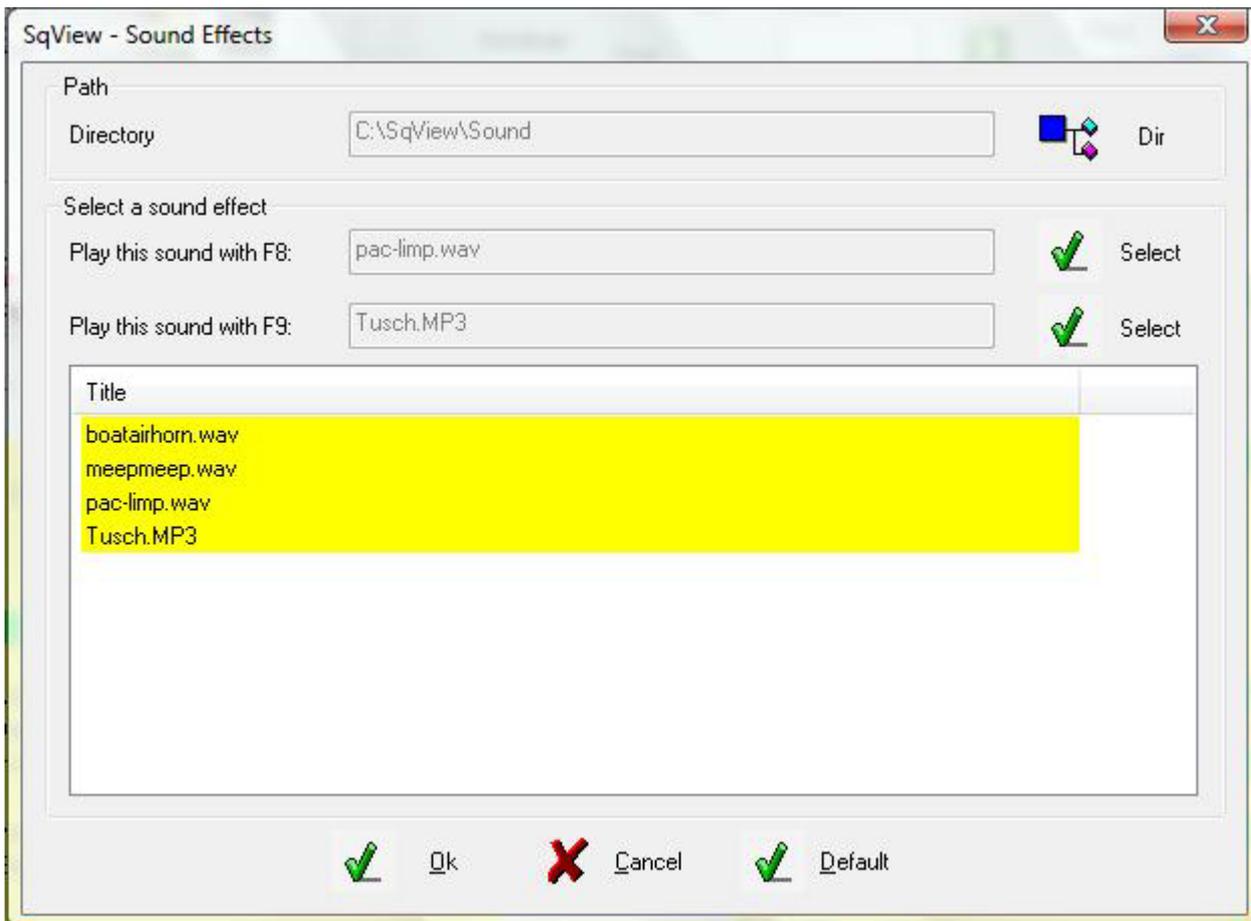
Backgroundcolor

バックグラウンドの色を指定します。

Write Stylesheet

コンボボックス内で選択された内容で、新たにスタイルシートを作成します。設定内容は、ini ファイルにも保存されます。

Options - Sound Effects



Path

Directory

サウンドファイルの保存されているフォルダへのパス。

Select a sound effect

Play this sound with F8

F8 を押したときに再生されるサウンドファイルを指定します。

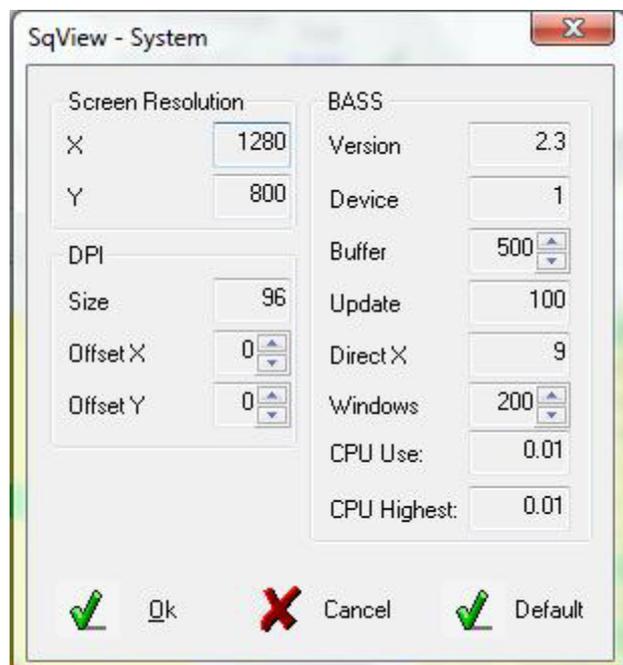
Play this sound with F9

F9 を押したときに再生されるサウンドファイルを指定します。

The Listbox

指定されたフォルダー内に含まれているサウンドファイルの一覧

Options - System



Screen Resolution

X
使用しているコンピューターの画面の解像度 X

Y
使用しているコンピューターの画面の解像度 Y

DPI

Size
フォントサイズ

Offset X
120dpi を選択した際の、X オフセット

Offset Y
120dpi を選択した際の、Y オフセット

BASS

Version

BASS のバージョン

Device

曲を再生する際に使用されるデバイス番号

Buffer

プレイバックのバッファサイズ

Update

プレイバックバッファのアップデート間隔

DirectX

DirectX のバージョン情報

Windows

曲の再生中にウィンドウズインターフェースがアップデートされる間隔をミリ秒で指定できます。使用している PC が古い場合にのみ調整が必要な場合があります。デフォルトは 200 ミリ秒です。

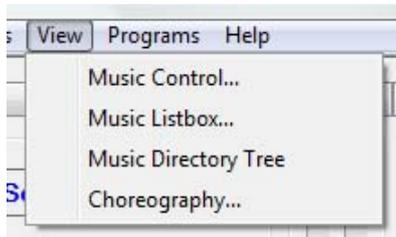
CPU Usage

BASS が使用している CPU の割合

CPU Highest

BASS が使用した CPU パーセントの最大値

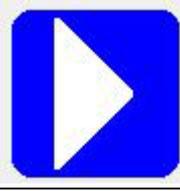
View



View - Music Control

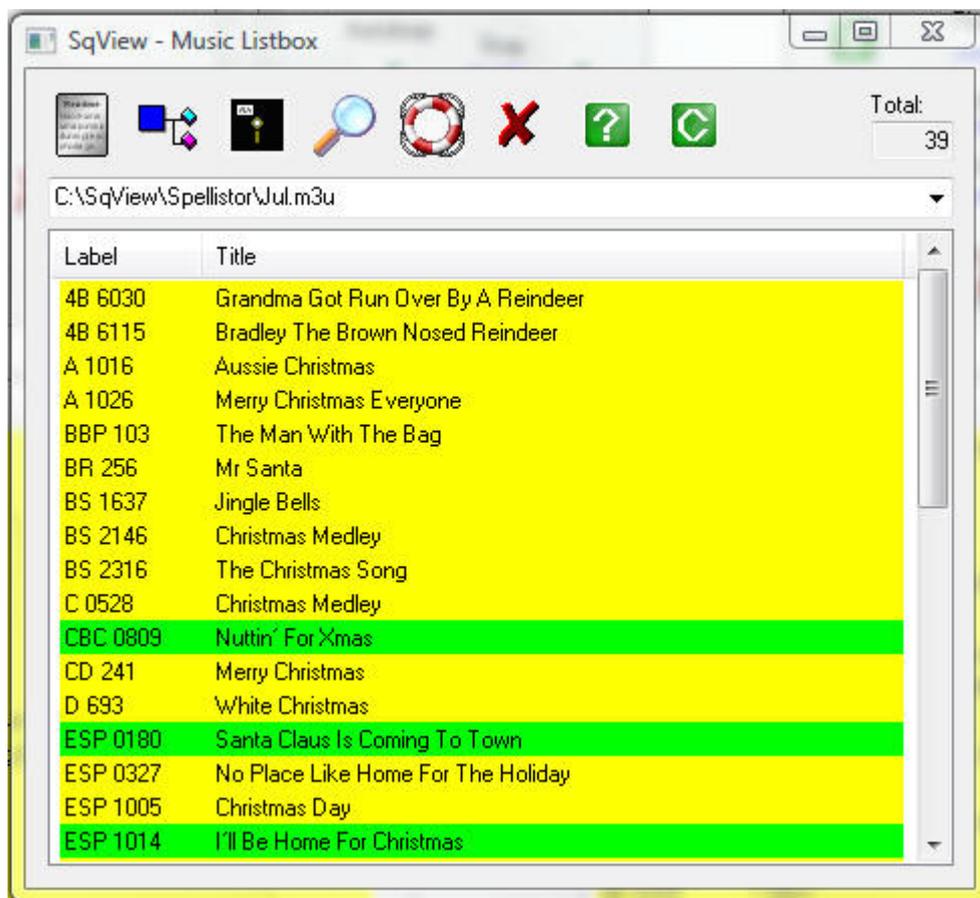


このウィンドウでは、音楽の再生に関するコントロールを行うことができます。ウィンドウを大きくすると、それに従ってボタンも大きくなります。

	再生中の曲タイトル
	ボタンをクリックすると、曲の再生位置が 10 秒(デフォルト)戻ります。戻る量は、Options->Music->FF/FR Step で変更できます。ショートカットキーは "O" です。
	曲の再生を開始します。曲の演奏が停止しているときには、スペースキーと同じ機能となります。ショートカットキーはスペースキーです。

	曲の再生を停止します。曲の再生中は、スペースキーと同じ機能となります。ショートカットキーはスペースキーです。
	ボタンをクリックすると、曲の再生位置が 10 秒(デフォルト)進みます。進む量は、Options->Music->FF/FR Step で変更できます。ショートカットキーは "P" です。
	Option->General->Lyrics で設定された条件で、歌詞を表示します。Options - General の Help 項目も参照してください。歌詞が見つからない場合には、このボタンは非表示となります。ショートカットキーは "T" です。
	曲をフェードアウトさせます。フェードアウトの時間は、Options->Music で設定できます。
	曲の再生テンポを下げます。
	曲の再生テンポを上げます。

View - Music Listbox



ウィンドウ内にはプレイリスト、あるいはフォルダー内の曲が表示されます。選択された曲は別の色でマークされます。このリストボックスを設定する方法はたくさんあります。Options->Music を参照してください。プログラムを起動した際には、前回最後に浸かっていたプレイリスト、あるいは、フォルダーが表示されます。Back Space キーで、リストから曲を消去することができます。

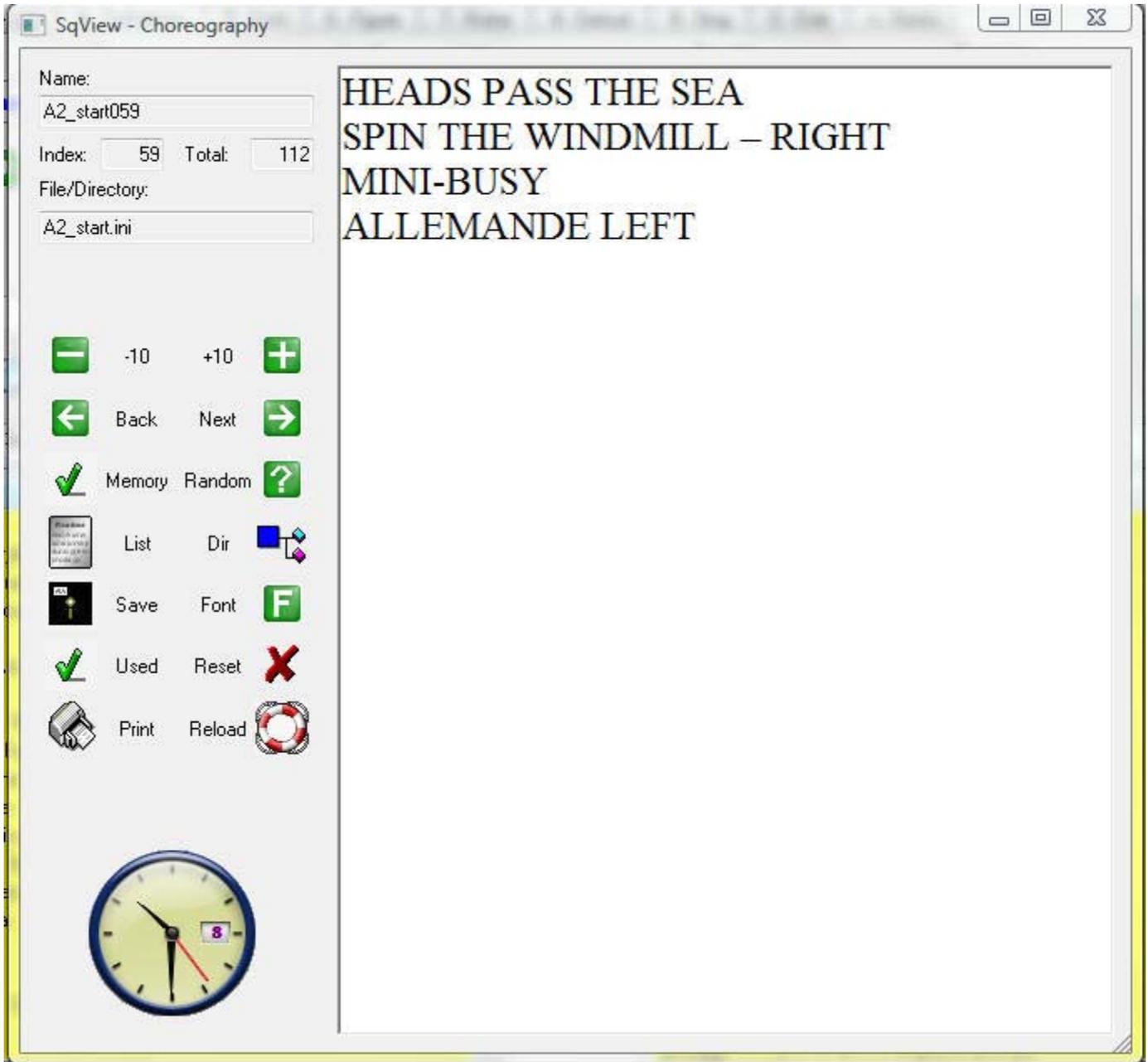
	<p>このボタンをクリックして、プレイリストを選択します。リスト内の曲全てが、リストボックス内に表示されます。</p>
	<p>このボタンをクリックして、フォルダーを選択すると、そのフォルダー内に保存されているすべての曲がリストボックス内に表示されます。</p>
	<p>このボタンをクリックすると、リストボックス内の曲をプレイリストに登録することができます。プレイリストの名前、その保存先を指定します。</p>
	<p>リストボックス内の曲から、任意の文字列を含むものを検索します。ボタンをクリックすると、検索文字列を入力するダイアログが表示されます。検索が終了すると、リストボックス内に検索結果が表示されます。リロードをクリックすると、元の全体リストが表示されます。</p>

	選択したフォルダー、あるいはプレイリストをリロードします。リストボックスの上には、そのパスが表示されます。
	リスト内の曲のマークをすべてクリアします。
	リストからランダムに曲を選択します。
	クリックすると、ダイアログが表示され、実行するチェック機能を選択します。選択できるチェック機能は、歌詞の有無、ループデータベースの有無、トラックデータベース有無、マークされているかどうかです。チェックの結果は、リストボックス内に表示されます。リロードをクリックすると、元の全体リストが表示されます。
Time: 149:29	リストボックス内の曲全体の長さが表示されます。曲の長さ、曲ファイルの拡張子を表示させたくない場合には、Options->Music->Length and Type のチェックをクリアします。
Total: 38	リストボックス内の曲の総数が表示されます。
C:\SqView\MP3	選択されたフォルダー、あるいはプレイリストのパスが表示されます。チェック機能、あるいは検索が行われた結果を表示している場合には、その実行した機能が表示されます。過去に使われたパスは、コンボボックス内に保存されます。

Label	Title	Length	Type
4B 6050	Proud Mary	3:57	MP3
4B 6145	Richest Man In The World	4:13	MP3
ABC 04	San Francisco	4:00	MP3
BM 0086	Wallpaper Roses	4:30	MP3
BS 1521	Pretty Lady	4:30	MP3
BS 2323	Boom A Rang	3:54	MP3
BS 2394	Company's Coming Hoe	4:30	MP3
BS 2445	Ready	3:56	MP3
BUC 1232	She's Crazy For Leavin'	3:55	MP3
C 0111	Ida Red	3:46	MP3
C 0222	Down At The Twist And Shout	3:46	MP3
C 0401	If I Had To Do It All Over Again	4:06	MP3
C 0521	Small World	4:30	MP3
C 0806	That Old Black Magic	3:49	MP3
CARD 008	Summer Sounds	3:50	MP3
CBC 0573	Never Ending Love	3:55	MP3
CC 006	Feliz Navidad	3:54	MP3
CC 104	All That Jazz Key A	3:48	MP3
CD 222	Close Enough To Perfect	3:43	MP3
CHY 404	If Youve Got Love	3:54	MP3
CK 083	I Just Call To Say I Love You	3:58	MP3
CK 510	Thumbs Up	4:30	MP3
CTY 02	Love Talks	4:02	MP3

表示させたい情報により、リストボックスは、2、5あるいは7列構成に設定できます。リストボックス内の曲のソート方法には、種類があります。それらの設定は、Options->Musicで行います。

View - Choreography



使用できるファイル形式は、HTM、HTML、PDF、MHT、TXT、及びRTFです。ウィンドウ内には、特定フォルダー内のファイル、あるいは、いろいろなファイルへのパスが記載してある、iniファイルです。iniファイルは、コレオグラフィーマネージャーで作成することができます。

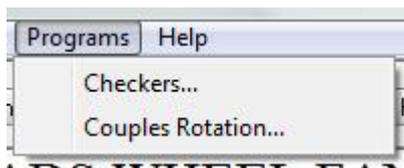
Name: A2_figure004	表示されているファイルの名前
-----------------------	----------------

Index: <input type="text" value="4"/>	表示されているファイルのインデックス
Total: <input type="text" value="6"/>	フォルダー、あるいは ini ファイルに登録されているファイルの数
File/Directory: <input type="text" value="A2_figure.ini"/>	選択されているフォルダー、あるいは ini ファイルの名前
 -10	インデックスを 10 下げて、新しいファイルを開きます。10 下げた結果、インデックスの値が 0 以下になる場合には、インデックスは 0 に設定されます。ショートカットキーは“Q”です。
+10 	インデックスを 10 上げて、新しいファイルを開きます。10 上げた結果、インデックスの値がファイルの総数よりも大きくなる場合には、そのファイルの総数に設定されます。ショートカットキーは“W”です。
 Back	インデックスを 1 下げて、新しいファイルを開きます。1 下げた結果、インデックスの値が 0 以下になる場合には、インデックスは 0 に設定されます。ショートカットキーは“A”です。
Next 	インデックスを 1 上げて、新しいファイルを開きます。1 上げた結果、インデックスの値がファイルの総数よりも大きくなる場合には、そのファイルの総数に設定されます。ショートカットキーは“S”です。
 Memory	後で参照できるように、ファイルのパスを保存します。このメモリー機能で保存されたファイルは、Tools->Memory Manager で確認することができます。ショートカットキーは“Z”です。
Random 	次のファイルを、ランダムに選択します。ショートカットキーは“X”です。
 List	新たに ini ファイルを選択します。
Dir 	新たにフォルダーを選択します。
 Save	同じファイルパスに、テキストを保存します。このソフトウェア上で修正できるのは、RTF、TXT ファイルのみです。
Font 	RTF、TXT ファイルのフォントを変更できます。
 Used	シークエンスを使用済みにマークします。使用済みのシークエンスを表示させるかどうかは、Options->Choreography->Show used files で選択できます。
Reset 	シークエンスに付けられた、使用済みのマークを削除します。
 Print	キューシートを印刷します。
Reload 	使用していたリスト、あるいはフォルダーから曲をリロードします。



現在の時刻を表示しています。

Programs



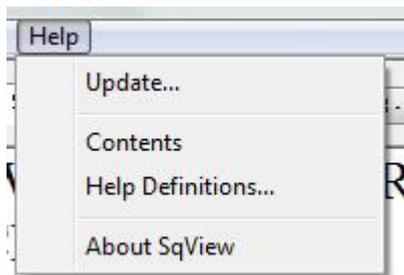
Programs - Checkers

このコマンドでは、チェッカープログラムを起動します。チェッカーは、SqView に含まれていません。チェッカーソフトウェアへのパスを Options->General-> Path Checkers で指定してください。

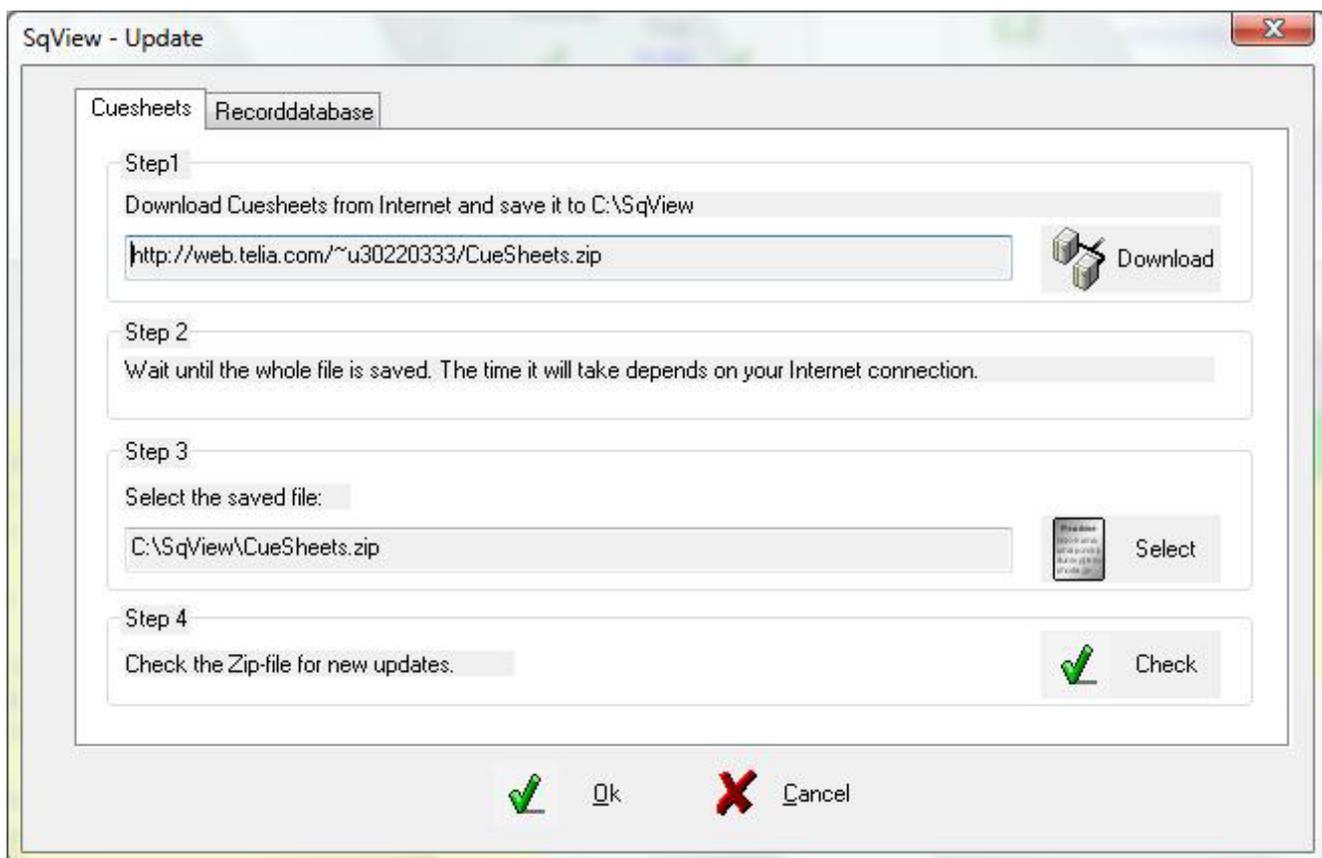
Programs - Couples Rotation

カップルローテーションのプログラムを起動します。このソフトウェアは、SqView に含まれていません。プログラムへのパスを、Options->General-> Path Couples Rotation で指定します。

Help



Help - Update



キューシート、及び、レコードデータベースは、以下の 4 ステップでアップデートできます。

Step 1

ダウンロードを実行すると、ユーザーの PC にキューシートとレコードデータベースの圧縮 Zip ファイルがダウンロードされます。これらを、SqView.exe と同じフォルダーに保存すると、もっとも簡単に行えます。

Step 2

SqView ソフトウェアは、Zip ファイルのダウンロードが終了したことを検知できませんので、ダウンロードが完了したら、次の Step 3 に進んでください。

Step 3

ダウンロードされた Zip ファイルを選択してください。ダウンロード自体を別の PC で行い、Zip ファイルのみ、使いたい PC にコピーすることもできます。その場合、この Step 3 から行ってください。

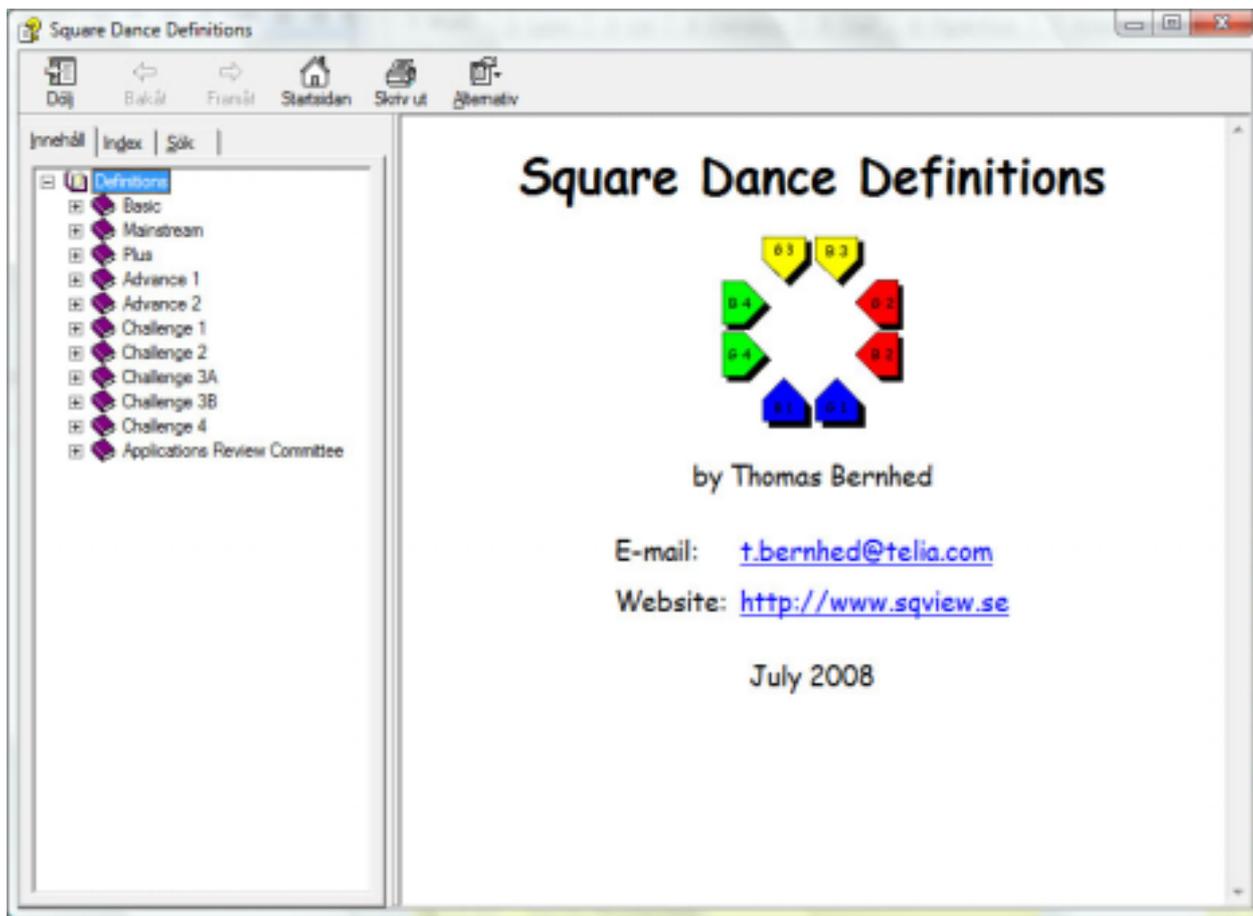
Step 4

Check をクリックすると、キューシート、レコードデータベースがアップデートされます。

Help - Contents

目次 - このヘルプファイルを表示します。F1 を押すのと同じ結果です。

Help - Definitions



Help Definitions - Caller Lab の提供する、Basic から C4 までの定義資料（英文）が表示されます。

Help - About



About SqView - バージョン情報と作者に関する情報が表示されます。

Release Notes

7.21

- * 使用した曲の履歴を保存するファイルを選択指定できるように修正 Options->General->List Colors
- * 右、あるいは左のリストボックスからの next song 再生のためのホットキーの設定

7.20

- * 設定時間超過時に、タイマーを赤色表示にするオプションの追加。指定時間 X 分以降、タイマーはカウントアップ、ダウンいずれでも赤色に。

7.19

- * ソングマネージャーのプログレスバーセッティングの保存に関するバグを修正
- * 各機能に対するホットキー（ショートカットキー）をユーザーが任意に指定できるように修正
- * 曲の再生に使用するデバイスの選択が可能に。 Options->Select Output Device
- * Markers に新機能の追加。
- * 音楽リストボックス内に、長さとファイルの作成日時の表示が可能に
- * 新バージョンの Winamp で使用できなかった、RA ファイルのサポートの中止。
- * デフォルトのボリューム指定オプションの追加
- * 録音ウインドウに、セッティングを保存するための Save ボタンを追加。

7.18

- * コレオグラフィーマネージャーの View ボタンで、コレオグラフィータブでの表示と同じ表示様式での表示が可能に

7.17

- * プログラム起動時に、出力デバイス選択のダイアログを追加表示

7.16

- * 歌詞をタブ 2 内でウインドウ内で最大化するオプションの追加 Options-Lyrics->Maximize lyrics window

7.15

- * 録音機能の拡充

7.14

- * BASS を 2.4 に更新
- * ツールチップコントロールの更新
- * ソングマネージャーのバグを修正

7.13

- * 録音機能の追加

- * ウェブカメラ、スクエアID、録音のアイコンを非表示にできるように修正

7.12

- * 曲のランダム再生機能の更新
- * レベルの「名前」をユーザーが変更できるように修正 Options->Choreography->Program->Change
- * プログレスバーを大きくし、色を拡張
- * イコライザーの On/Off を、ファイルごとに指定する機能の追加。Options->Music->Miscellaneous->Equalizer On/Off for each song
- * Options->Lyrics->Marry->Marry Music - Lyrics で表示されるダイアログを追加
- * キューシートマネージャーで、歌詞を1列、あるいは2列にできる機能を追加

7.11

- * ソングマネージャーにて、ファイルインポートに関するバグを修正

7.10

- * View->Music Directory Tree で、音楽ファイルの格納フォルダーへのディレクトリツリーを別ウインドウで表示する機能を追加

7.09

- * プレイリストマネージャーにおいて、サブディレクトリ内の検索機能の追加
- * 歌詞ウインドウのバグを修正
- * "Remove used music from list" 使用した曲をリストから消去のオプションを使用時に、リストボックスが空になった際に、リストボックスをリロードするように修正

7.08

- * ファイルの再コンパイル

7.07

- * Rate, Comment 1-2 が、プレイリストマネージャーでも見られるように修正。Options->General->Playlist Manager.
- * ウインドウリストボックスへの歌詞の表示有効/無効の切り替え機能の追加

7.06

- * 時計をウインドウ内の右端に表示できるオプションを追加
- * Next - List からでも、Continue モードが使用できるように修正
- * キューシートの HTML エディター機能を追加
- * ファイルが見つからない場合のエラーメッセージを改善

7.05

- * プレイリストマネージャーにおいて、両方のリストボックスで Play/Stop が使えるように修正
- * プログレスバーの不具合を修正
- * ループデータベースへのパス指定が可能なように修正

- * プレイリストフォルダーへのパス指定
- * ループデータベースを、指定されたフォルダーでなくとも、名前だけで検索できるように修正
- * Show lyrics on Play (曲の再生時に歌詞を表示) チェックボックスをリストボックスの間に配置

7.04

- * Music タブで、歌詞の検索の有効/無効の切り替えが可能に

7.03

- * プレイリストマネージャーの機能を拡張。Options - General を参照。
- * 使用済みの曲をリストボックスから消去する際の不具合を修正

7.02

- * Playlist Manager に、Music リストボックスと同じオプション (Options - General) を使えるように修正。

7.01

- * 曲の再生中でなくとも、F8 および F9 が機能するように修正

7.00

- * More options on restart, see Options->Music.
- * Play a song x minutes and when fade out.
- * The comma hotkey can be disabled.
- * Option to always show the Marry-dialog for lyrics.
- * Relative paths for Playlists and Choreographylists.
- * Different users with individual settings for songs.
- * New BASS files.
- * Soundfonts for Midi-files.
- * CDDDB information added.
- * New window for Choreography, Playlists and Music control (with jumbo buttons).
- * Different progressbars can be selected for each song.
- * Guest caller mode that don't allow any changes.
- * Deleted CD info.
- * Deleted the CPU load from the music tab.

6.72

- * Tempo and pitch can be changed on all MP3-files (no more Tempo 0.0).

6.71

- * Added a hotkey(F11) for showing the hotkey dialog.
- * Fixed a bug for scrolling lyrics.

6.70

- * Added an option to reset the timer when the music was restarted with the ".".
- * Resetbutton for the "Next" list in the current frame.
- * Changed the function for hotkey "" and "H".
- * Changed the size of the hotkey window.
- * Message to the user if the Loopdatabase are too large.
- * Message to the user if the computer is set on 120 DPI .
- * Added an option to fade in the music when it ´s started from the markers list.

6.69

- * Buggfix for compare lyrics.

6.68

- * Added an option to have the pling only on hoedowns

6.67

- * Added a minimize button to the Hotkey dialog.

6.66

- * Added an option if the program shall be maximized on startup.
- * Moved the option for timerupdate and bass buffer to the System dialog.
- * Fixed a bug in the lyric scrolling.

6.65

- * Deleted support for Au, Aif, Voc, Bonk and I ff files.
- * Added an option to show the digital clock again.
- * Added an option to don ´t show the MP3-Tag button.
- * Added an option to show the Zero-button again.
- * Updated the support for large fonts.
- * Added a new dialog that shows the system settings, Options->System.

6.64

- * Released version.

6.63

- * Bug fix.

6.62

- * Added an option so the timer will stop counting when the music is stopped.

6.61

- * The user can have different lyrics for the same song depending on the level.
- * Reload button in the choreography tabs.

6.60

- * The lyrics can scroll automatic, set how often and how much in the options->Lyrics.

6.59

- * All the dialogs under Tools are Modeless.
- * Fixed a bug in the Timer Break.
- * Added support for large fonts.

6.58

- * Change rate to 0-9.
- * The controls will adjust with resizing.

6.57

- * Fix a bug with cuesheets.
- * Option - Don't search for lyrics can be chosen for left/right listbox.
- * Hotkey "T" is the same as pressing the lyric button in tab 1.

6.56

- * Fix a bug for playing Midi-files.

6.55

- * New analog clock.
- * Extended the Cuesheet manager with "Middle Break & Closer".

6.54

- * Fixed a bug in the Playlist Manager.
- * Default button for Options.
- * The Right/Left arrow will show the next choreography file in tab 5-11.
- * Added a dialogbox to confirm reset controls.

6.53

- * Label and Title can be switched when searching for lyrics.
- * Option - SqView can be drive independent.
- * Support for printing cue sheets and choreography.
- * Loop-, Track-, Memory- and Eq Database have to be in the same directory as SqView.
- * Changed the menu, renamed a few entries.
- * Cuesheets and Recorddatabase can be updated from Internet, see Help->Update.

6.52

- * Que more than one song to play.
- * Delete some options.
- * Option - Hoedowns always with Autostart and Singingcall without Autostart.

6.51

- * Change Mainstream53 to Basic.
- * Added Maximize/Minimize to the View Cue Sheet window.
- * Added an empty template for writing Cue Sheets.
- * Option - The music can back x sec when the stop button is pressed.

6.50

- * Added sound effects (F8-F9).
- * Extended the startup of the Webcam dialog.

6.49

- * Another buggfix.

6.48

- * Buggfix for showing lyrics.

6.47

- * Fixed some small bugs in Add Choreography.

6.46

- * Changes so Hoedown will search for lyrics also.
- * Reset Controls will also reset next song.

6.45

- * Change the meaning of hotkey X to reset timer.
- * F7 will have the same function as SPACE.
- * Fixed some small bugs.

6.44

- * Added a link to download the latest Recorddatabase
- * Delete the Midi Device selection from Option-General
- * Changed the icon for reset the music controls
- * Option for how the marked songs shall be deleted (one or all)
- * New Setup program with more options

6.43

- * Helpdefinitions is updated
- * Html definitions are updated and included in the download
- * Easy wizard to make Cuesheets
- * Marry Lyrics to any music
- * Buggfix for the Equilizer
- * Backup - Import
- * Open the help from all dialogs

- * Option to don't search for lyrics
- * Hoedown will never search for lyrics
- * Fixed the bug that didn't allow SD to be in another directory
- * Choice to only delete the mark for one row in the listbox
- * Larger font in the Square ID dialog
- * Timer for pause between tips
- * Option to have a "pling" when the timers are zero

6.42

- * Format choreography before adding it
- * Choose your own font and size for the listboxes
- * Option - Left click once same as right click
- * Checker on the level that is selected
- * Backup - Export

6.41

- * Hotkeys for levels F2-F5
- * Updated GUI
- * Progressbar for music larger and always showed
- * Added combobox over the listboxes for fastselection of the opened lists/dirs
- * Edit MP3 tag
- * New icon for save
- * Buggfix for the lyricswindow
- * Changed Mark to Markers
- * Tool tips
- * Rightclick will remember if the song was a hoedown or singingcall
- * Option - Full volym and no muting on startup
- * Hotkey F6 for changing the lyricview
- * Statusbar that will show a progressbar for the music, tempo and loop/play status.
- * Option - Remove the used music from the list.
- * Added hotkeys for the volume.
- * Change the meaning of hotkey B, N, Z and <.

6.40

- * Buggfix for showing marked files after restarting the program.
- * Updated the Hotkey window.

6.39

- * Support for a webcamera to take a snapshot of the pilotsquare.
- * Pressing "T" in tab 2 will make a jump to tab 1.
- * Change the meaning of hotkey U, I and S.
- * Option to always show the lyrics when the music is started.
- * Updated the user interface.

6.38

- * Change the textsize, fontname and color of the stylesheet for lyrics.
- * Change the color of the text in the listboxes in the music tab.
- * Choreography can be marked as used. The user can choice not to show used choreography.
- * PageUp/Down and Arrow Up/Down will scroll the lyrics or choreography.
- * Q & W will change to the last used playlist or Directory in the music Tab.

6.37

- * Plugin for playing textfiles removed.

6.36

- * Added the choice to open a list in the left listbox in Playlist Manager.
- * Shows the name of the song that is playing in the Playlist Manager.

6.35

- * Added the same buffert for the music in the Song Manager as in the Music tab.
- * Removed the pitchshifter.
- * Removed options for showing Bass error

6.34

- * Added a choice so the latest selected list or dir is not saved.

6.33

- * Fixed bug when the listboxes was saved in the Music Tab
- * Fixed bug that Marks are deleted when a list is saved in the Music Tab

6.32

- * Play more formats MP3, MP2, MP1, WAV, OGG, CDA, WMA, MID, KAR, VOC, AIF, IFF, BONK & AU
- * Choreography and Lyrics can be in TXT, PDF, RTF, HTML and MHT format
- * Font name, font size, bold and italic are saved for each tab
- * A button with the same function as"."
- * Rating can be set in the music tab
- * Delete more than one entry in the Songmanager
- * Edit Marks in the Songmanager
- * Edit and Save playlist in Music Tab
- * Improved the searchfunction in the Music Tab
- * If Length and type are selected the whole time for the list will be showed
- * When lyrics for a song is showed in the Lyrics Tab, a Playbutton will be showed if there is a song with the same name
- * Select id the Save button in Tab 5-11 shall be Save or Save As
- * Dropfiles on all Tabs are working
- * Songmarks will not disappear when you reload or restart the program
- * Improved the function when a directory will be selected

- * Save and Open in Trackmanager
- * A window for the alarm that can be placed anywhere
- * Larger fonts in the listboxes
- * Continue with fade function
- * Change background color when the alarm is overtime
- * Button to show more text or notes for a song
- * 12 hour clock
- * Change "M" to "" to select next song
- * Count down the song length
- * Toggle alarm count up and down
- * Updated GUI
- * Show MP3 information
- * Button to show the Square Identification window
- * Fixed a bug when the Square Identification window was showed the first time
- * Function to search the listbox for lyrics, tracking, marks and loops in Music Tab

6.23

- * Add choreography if followed by a reload
- * SDave volume for each song
- * Helpfile
- * Slowerbutton
- * CPU-usage can show highest value and an updated value
- * Updatetime for the GUI can be changed
- * Select if the listbox shall be for hoedown or singingcall
- * Squareidentification
- * Show what file or directory is selected in the choreography tabs
- * Drag and Drop files
- * Autofocus
- * Waittime between songs in Continue mode
- * Timern is counting all the time and is blinking after zero
- * Hide Card
- * SqRecord is included
- * EQ saved for each song
- * Start SD and SqRotation
- * Show file type and length
- * Find a call
- * Select more than one entry in the marklist
- * XP-Style
- * Definitions as a help-file
- * ColorPicker
- * Make the Progressbar clickable
- * Bitrate
- * Resetbutton

- * Show everything in minutes and seconds
- * Modeless Lyrics-ruta
- * Modeless Hotkey-ruta
- * Change all sliders

6.00

- * Button for random selection of music
- * Mark played songs
- * Loop a fixed number of times
- * No startmeny
- * Options in main window
- * Save in all chorepgraphy tabs
- * Tool for make choreography lists
- * Play music in the playlist manager
- * Equalizer
- * Count down timer
- * Show lyrics in the music tab
- * Select a ini-file or a directory in the choreography tabs
- * Select if the title or label shall be shown in the first column
- * Split title and label in two columns in the lyric tab
- * More columns with information in the music tab
- * More functions in the song manager

Bass Error

BASS_OK 0 all is OK
BASS_ERROR_MEM 1 memory error
BASS_ERROR_FILEOPEN 2 can't open the file
BASS_ERROR_DRIVER 3 can't find a free/valid driver
BASS_ERROR_BUFLOST 4 the sample buffer was lost
BASS_ERROR_HANDLE 5 invalid handle. Check the file path.
BASS_ERROR_FORMAT 6 unsupported sample format
BASS_ERROR_POSITION 7 invalid playback position
BASS_ERROR_INIT 8 BASS_Init has not been successfully called
BASS_ERROR_START 9 BASS_Start has not been successfully called
BASS_ERROR_ALREADY 14 already initialized/paused/whatever
BASS_ERROR_NOPAUSE 16 not paused
BASS_ERROR_NOCHAN 18 can't get a free channel
BASS_ERROR_ILLTYPE 19 an illegal type was specified
BASS_ERROR_ILLPARAM 20 an illegal parameter was specified
BASS_ERROR_NO3D 21 no 3D support
BASS_ERROR_NOEAX 22 no EAX support
BASS_ERROR_DEVICE 23 illegal device number
BASS_ERROR_NOPLAY 24 not playing
BASS_ERROR_FREQ 25 illegal sample rate
BASS_ERROR_NOTFILE 27 the stream is not a file stream
BASS_ERROR_NOHW 29 no hardware voices available
BASS_ERROR_EMPTY 31 the MOD music has no sequence data
BASS_ERROR_NONET 32 no internet connection could be opened
BASS_ERROR_CREATE 33 couldn't create the file
BASS_ERROR_NOFX 34 effects are not available
BASS_ERROR_PLAYING 35 the channel is playing
BASS_ERROR_NOTAVAIL 37 requested data is not available
BASS_ERROR_DECODE 38 the channel is a "decoding channel"
BASS_ERROR_DX 39 a sufficient DirectX version is not installed
BASS_ERROR_TIMEOUT 40 connection timed out
BASS_ERROR_FILEFORM 41 unsupported file format
BASS_ERROR_SPEAKER 42 unavailable speaker
BASS_ERROR_VERSION 43 invalid BASS version (used by add-ons)
BASS_ERROR_CODEC 44 codec is not available/supported
BASS_ERROR_UNKNOWN -1 some other mystery error

FAQ

What is easiest way to get started? 簡単に使う方法を教えてください。

1. リストボックスの上にある、フォルダー (Dir) ボタンをクリックします。
 2. MP3 ファイルの保存してあるフォルダーを選択します。
 3. ボタンの下のリストボックス内には、MP3 ファイルのリストが表示されます。
 4. 演奏したい曲をダブルクリックします。
 5. プログラムは、Options->General で指定されたフォルダー内で、その曲の歌詞を検索します。曲の歌詞が見つかったら、画面左上、“>>” ボタンの右の方に、新たにアイコンが表示されます。
 6. 曲の再生を開始するには、スペースバーを押すか、画面左上にある、緑色の生ボタンをクリックします。
 7. 曲のピッチ、テンポはリアルタイムに調整することができます。
 8. 歌詞を見たい場合には、“T”を押すか、タブ2を開きます。(初期画面の Music は、タブ1です)
-

How do I add my own Choreography? 自分で作ったコレオグラフィーを追加するには？

1. Tools->Choreography Manager->Add Choreography を開きます
 2. シークエンスを書きます
 3. Save をクリックし、ファイル名を指定して Enter を押します。
 4. ステップ 2 と 3 を繰り返し、シークエンスを登録してゆきます。
 5. ウィンドウを閉じます。
 6. Dir をクリックし、コレオグラフィーファイルを保存したフォルダーを選択します。
 7. 左のリストボックス内に登録したファイルが表示されるはずですが、コレオグラフィーリストに登録したいファイル名をダブルクリックします。曲のプレイリストを使うのと同じ要領です。
 9. コレオグラフィーリストが完成したら、Save をクリックして、ファイルを保存します。
 10. ウィンドウを閉じます。
 11. コレオグラフィーを表示させたいタブ(5 ~ 11)を選択します。
 12. コレオグラフィーリストを表示させるには、List をクリックし、作成したリストの中から目的のものを選択します。
 13. フォルダー内の全てのコレオグラフィーファイルを表示させるには、Dir をクリックし、フォルダーを選択します。
 14. 別のシークエンスを表示させるには、Next、あるいは、Back をクリックします。
-

How do I add Lyrics? 歌詞を追加するには？

1. 歌詞を書き、音楽ファイルと同じ名前の html ファイルに保存します。
例えば、"4B 6050 - Proud Mary.MP3" に対して、"4B 6050 - Proud Mary.html"
ファイル自体はテキストファイルでかまいませんが、拡張子は、必ず ".html"と、してください。
2. Options->General->Lyrics->Path で、歌詞の保存フォルダーに指定しているフォルダーに、このファイルをコピーします。
3. 再生する曲を選択した際には、プログラムはまず、曲名中の“ - ”(デリミタは、<反角スペース><半角ハイフン><半角スペース>の 3 文字になります。)デリミタが見つかったら、プログラムは、その左側にあるもの

- をレコード番号として認識します。右側にあるものは曲名として認識しますが、曲と歌詞をマッチングさせる際には、無視されます。曲名に“-”が無い場合には、ファイル名全体が一致するものを探します。
4. 曲に対する歌詞が見つかった場合には、画面左上の“>>”ボタンの右側に、アイコンを表示します。
 5. 歌詞を見たいときには、“T”を押すか、タブ 2 を開きます。
-

How do I make a playlist? プレイリストを作成するには？

1. プレイリストを作成するには、まず、Tools->Playlist を開きます。
 2. 左側のリストボックスの下にある Dir ボタンをクリックし、音楽ファイルが保存されているフォルダーを選択します。
 3. 登録したい曲をダブルクリックするか、選択した後に Add ボタンをクリックします。曲は、右側のリストボックスに追加されてゆきます。
 4. リストが完成したら、右のリストボックスの下にある Save ボタンをクリックして、ファイルを保存します。プレイリストダイアログボックスを閉じます。
 5. Music ウィンドウの中で、どちらかのリストボックスの上にある List ボタンをクリックし、保存したプレイリストを選択します。
-

What is BASS? BASS とは何ですか？

BASS とは、Win32 (9x/ME/2K/XP/Vista) ソフトウェアで使用する、音楽ライブラリーです。効率的で強力な、しかも使いやすいソフトウェアであることを目指して作成されています。ソフトウェアは、小さな DLL ファイルで、100KB 程度のサイズです。
